

コンパクト オーディオ

ALLORA

XF3M

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

B60-0933-10 (JA) MC
93/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 92/12

リモコンの使いかた
時刻合わせ

レシーバー・
グライコの操作

CD・カセットテープ
のききかた

録音のしかた

プレゼンスについて

タイマーの使いかた

故障と思われる
症状ですが・・・

はじめに

ケンウッド商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため本説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださるようお願いいたします。また、お読みになったあとも、大切に保存してください。

目次

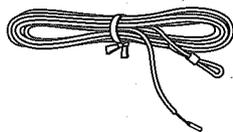
ご注意：△のついた項目は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前に必ずお読みください。

△取扱上のご注意	3	カセットテープのききかた	40
ご使用前に	4	DPSSの使いかた	42
システム接続のしかた	6	ダッシュ&プレイ	43
各部の名称	10	録音のしかた(Bデッキのみ)	44
リモコンの使いかた	13	CDのシンクロ録音	46
音を出してみましょう	15	CDの録音のしかた(CCRS)	48
時刻合わせ	16	PGMモード以外での録音	49
音の調節のしかた	17	PGMモードでの録音	49
ヘッドホンできく	18	ノーマル編集録音(NORMAL EDIT)	50
放送受信のしかた	19	AI編集録音(AI EDIT)	51
放送を受信し、プリセットする(記憶させる)	19	マルチディスク編集録音(MULTI EDIT)	52
放送局名を表示させる	21	ダビングのしかた	54
グラフィックイコライザーの操作	23	簡単にカラオケを楽しむには	55
AI LOUDNESSの使いかた	25	プレゼンス(臨場感)について	56
AI AUTOの使いかた	26	タイマーの使いかた	57
AI FOCUSの使いかた	27	プログラムタイマーで放送を受信する	58
MANUAL/REFERENCEの使いかた	28	プログラムタイマーでCDを再生する	59
自分で作ったパターンの記憶のしかた	29	プログラムタイマーでテープを再生する	60
イコライザーパターン一覧表	30	プログラムタイマーで放送を録音する	61
CDのききかた	32	ワンタッチタイマーの使いかた	62
マガジンにディスクを入れる	32	AI TIMERの使いかた	63
CDを始めからきく	34	スリープタイマー、カレンダーチェック	64
好きな曲からきく	35	故障と思われる症状ですが	65
好きな曲を好きな順番できく(PGMモード)	36	アフターサービスについて	68
繰り返しきく(リピートプレイ)	38	定格	69
ランダム再生のしかた	39		

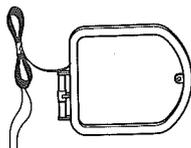
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

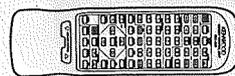
FM簡易アンテナ(1本)



AMループアンテナ(1個)



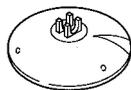
リモートコントロールユニット(1個)



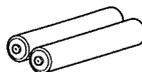
スピーカーコード(2本)



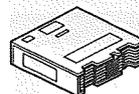
ループアンテナスタンド(1個)



リモコン用単4電池(2個)



マガジン(ディスクトレイ6個入り)



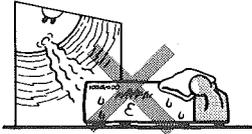
スピーカーコードはスピーカー部、リモートコントロールユニットはグライコ部、その他の付属品はレーザー部に同梱されています。

取扱上のご注意

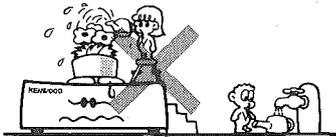
△この頁は安全確保のために必ずお読みください

■設置上のご注意

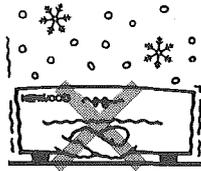
直射日光の当たる所、暖房器具など発熱物の近くは避けてください。



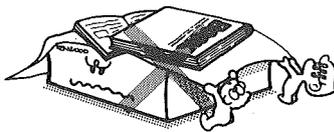
花びん、化粧品など液体の入ったものは、上に置かないでください。また、湿気の多いところは避けてください。



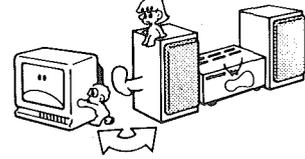
極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。



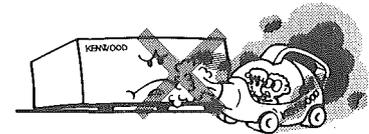
放熱をよくするため、本など、ものをセットの上に置かないでください。また、壁から10cmくらい離して置いてください。



雑音が入る場合は、テレビからできるだけ離してご使用ください。

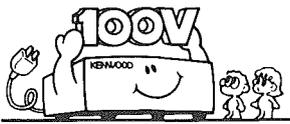


不安定な棚などは避け、ホコリ、震動の少ない水平な場所に設置してください。また、放熱孔をふさぐジュタン、ソファ、ベッド等の上では使用しないでください。



■安全上のご注意

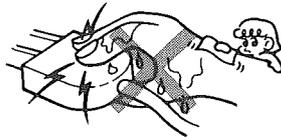
本機は、交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。



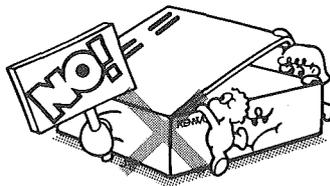
電源コードを強くひっぱったり、無理に折り曲げたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは、プラグを持ってください。



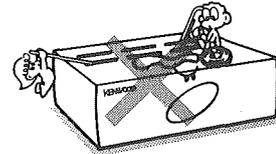
電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行わないでください。感電する恐れがあります。



ケースなどをはずし、内部に触れることは避けてください。内部に手を触れると感電、故障の原因となることがあります。



ケースの空気孔等にヘアピン、縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。



■セットのお手入れ

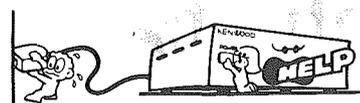
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



■異常にお気づきのさいは

万一、煙が出ている、また変なにおいがするなどの異常がおきたときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速やかに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へご連絡ください。

POWER OFF

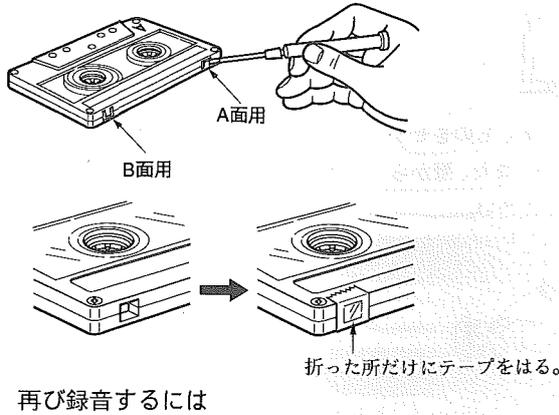


ご使用の前に

カセットテープについてのご注意

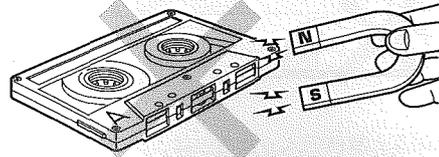
誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。
誤消去・誤録音を防げます。



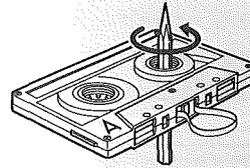
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。
また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



ご注意:

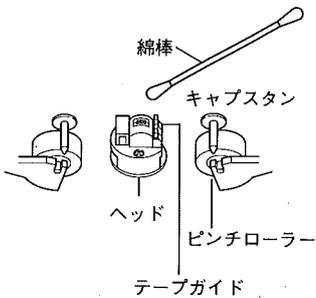
1. 110/120分テープについて

110/120分テープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用は避けください。

2. エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

ヘッドのお手入れ



ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド（録音／再生／消去）、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. イジェクトキーを押し、カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド（録音／再生／消去）、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器（ヘッドイレーサー）で消磁してください。

ご注意:

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかかり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを“露付き”といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。

これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。

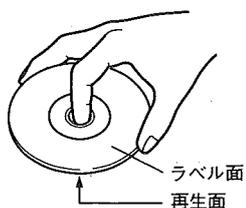
本機の電源を入れた状態で、そのまま放置しておいてください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

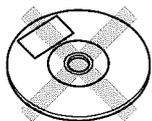
- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

ディスク取扱上のご注意

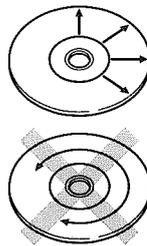
取り扱い
再生面にふれないように持ってください。



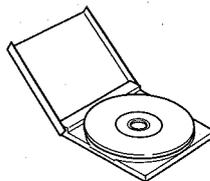
再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



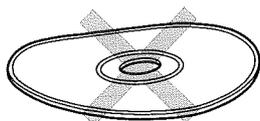
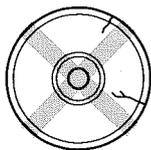
お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存
長い間使用しないときは、本機から取りだし、ケースに入れて保管してください。



ディスク使用上のご注意



ひびやそりのあるディスクは使わない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号  は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

メモリーバックアップ

電源OFF (STAND BY 状態) にしてから最低3日で消えるメモリーの内容

グラフィックイコライザー (記憶したパターン)
カセットデッキ (DIRECTION、録音レベル)

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容

レーザーの時計表示

電源プラグをコンセントから抜いて最低3日で消えるメモリーの内容

レーザーのプリセット
放送局

スピーカーの設置とテレビについて

1. このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型 (EIAJ 規格) ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがOFFのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

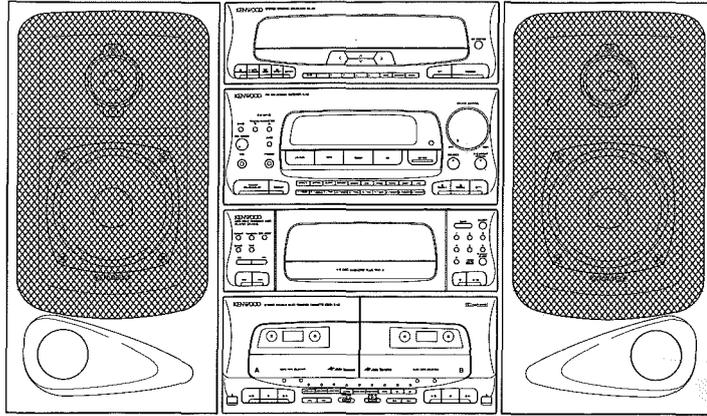
あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

システム接続のしかた

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

- セットの積み重ねは、接続図通りに行ってください。
- 平行コードは、ソケットの色を合わせてください。
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- セットの前面はそろえてください。

縦に置いたとき



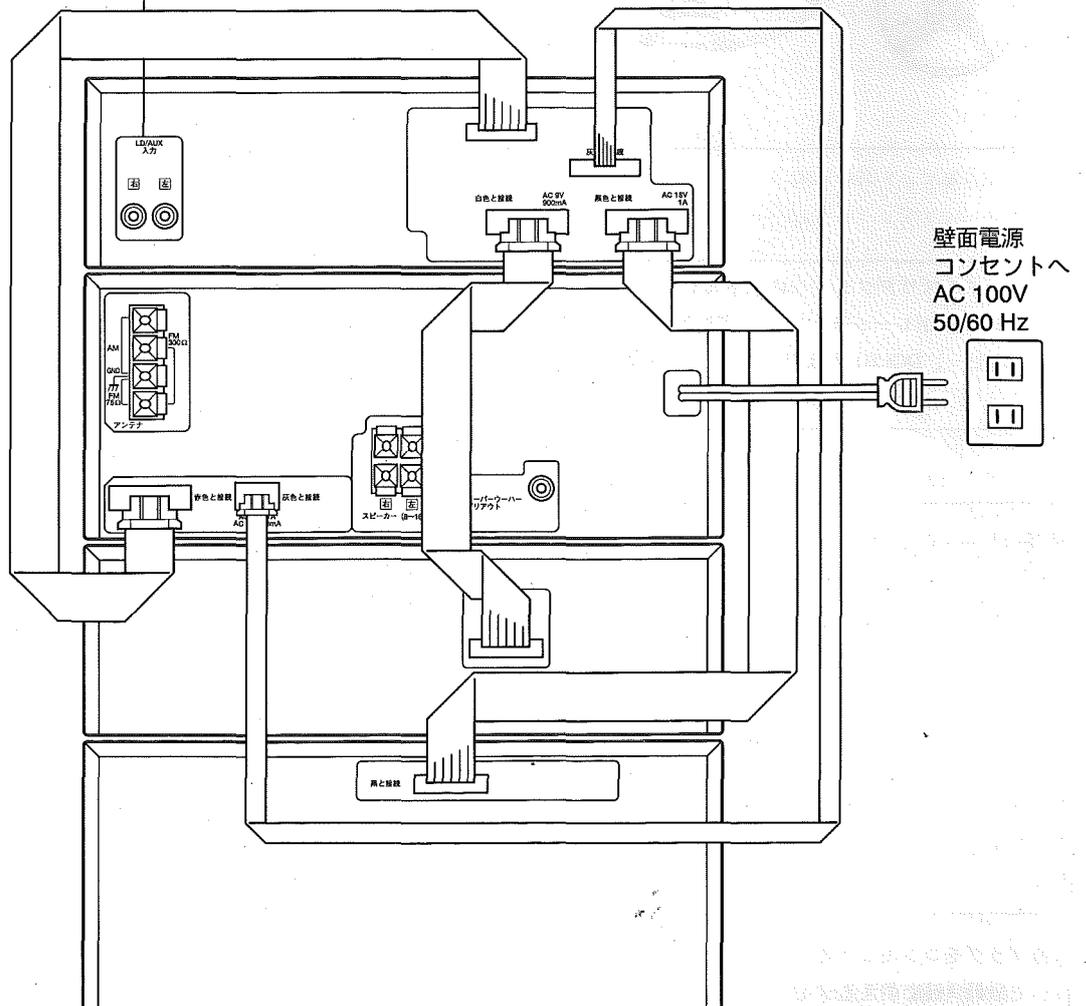
LDプレーヤーなどの音をきくときにご利用ください。

グラフィックイコライザー
GE-A5

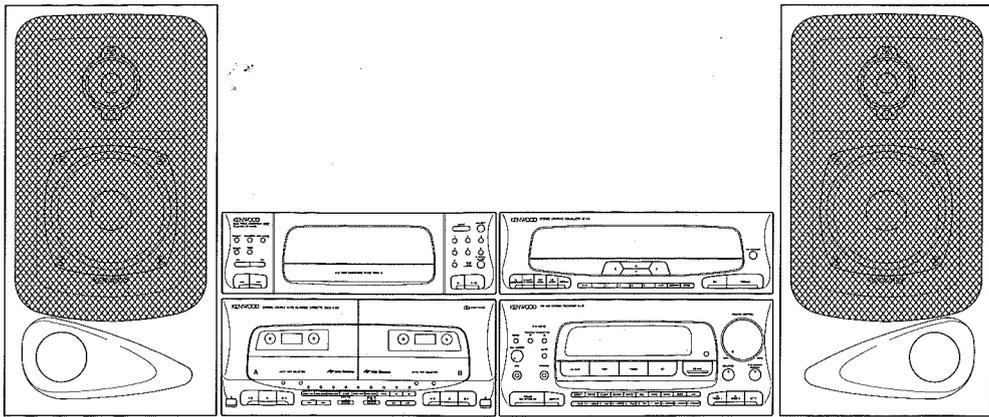
レシーバー
A-A5

CDプレーヤー
DP-MA5
または、
DP-A5

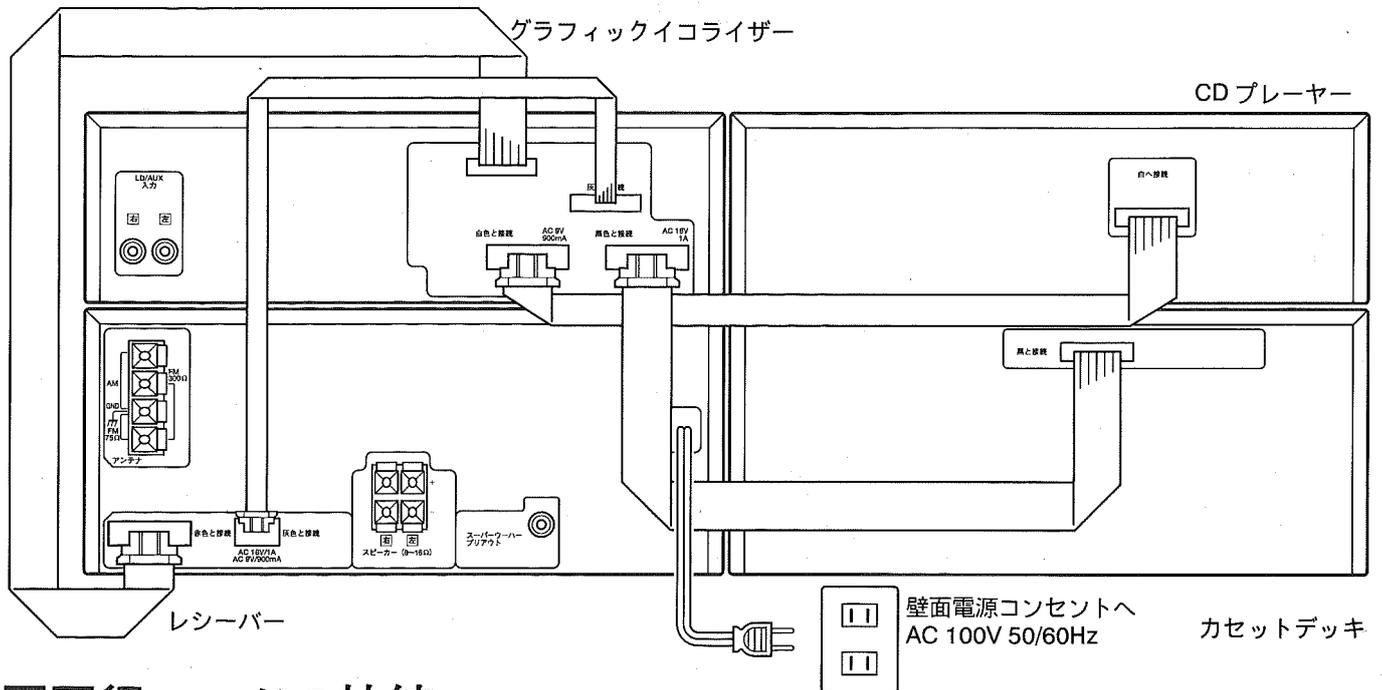
カセットデッキ
X-A5



横に置いたとき

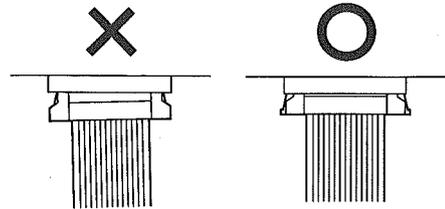
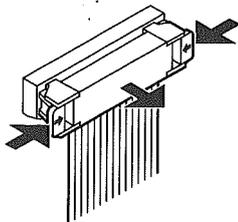


よこ置きの場合は、必ずレシーバー部分をCDプレーヤー+カセットデッキ部の右側に置いてください。



■ 平行コードの接続

- 平行コードは、カチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックしてください。
- 平行コードは、ソケットの色を合わせて接続します。
- コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらかまっすぐに引き抜きます。

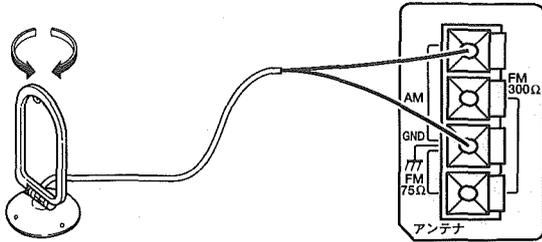


ご注意：

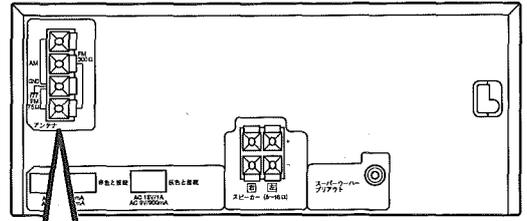
1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

■ AM ループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態が一番よい方向に向けます。

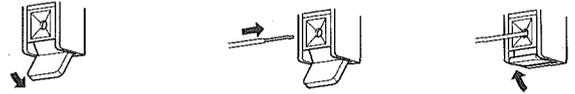


ループアンテナスタンド



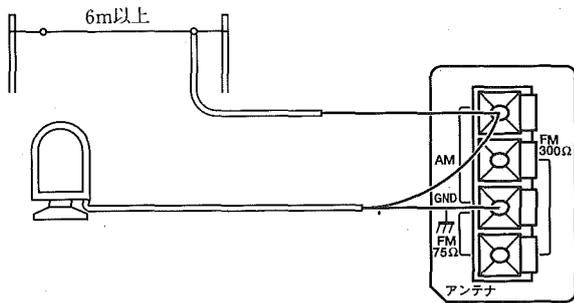
接続のしかた

- ① レバーを押す
- ② コードを差し込む
- ③ レバーを戻す



■ AM 屋外アンテナの接続

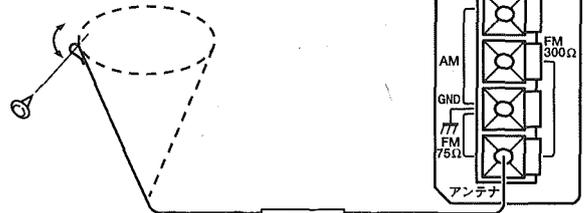
受信状態が悪い場合は、ループアンテナをつないだまま 6m 以上のビニール被覆線を屋外に張ってください。



■ FM 簡易アンテナの接続

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のために、なるべく早く屋外アンテナを接続してください。屋外アンテナを接続したら、室内用アンテナは取り外してください。

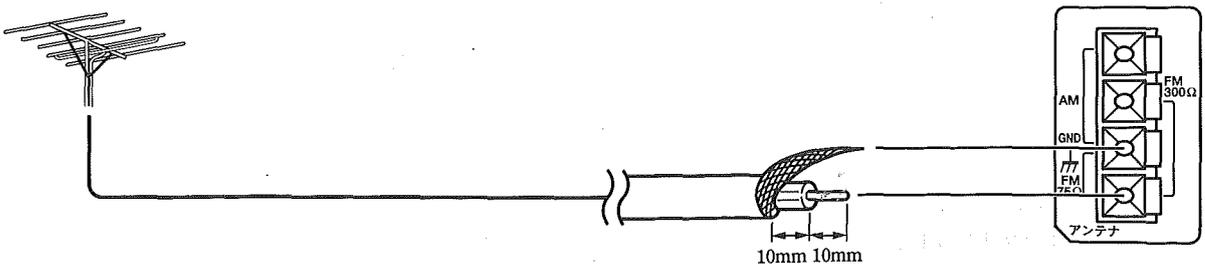
- ① コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ② 受信状態の良い位置を探す。
- ③ 固定する。



■ FM 屋外アンテナの接続

75 Ω 同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、「FM75 Ω」に接続します。

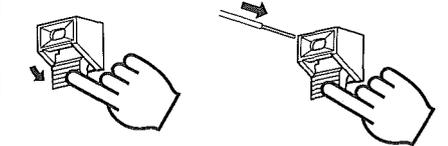
FM専用アンテナ



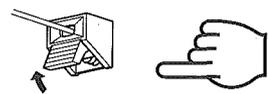
■ フロントスピーカーの接続

スピーカー部

- ①レバーを押しながら ②コードを差し込む



- ③レバーから手をはなす

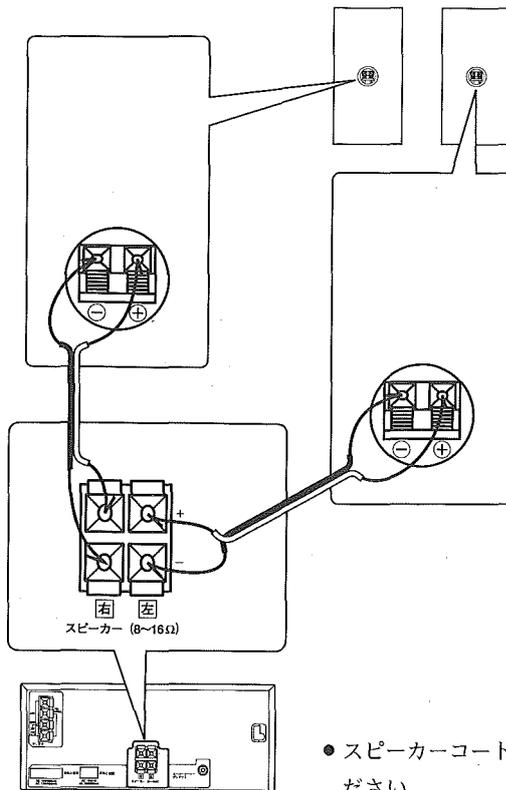
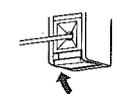


レシーバー部

- ①レバーを押す ②コードを差し込む

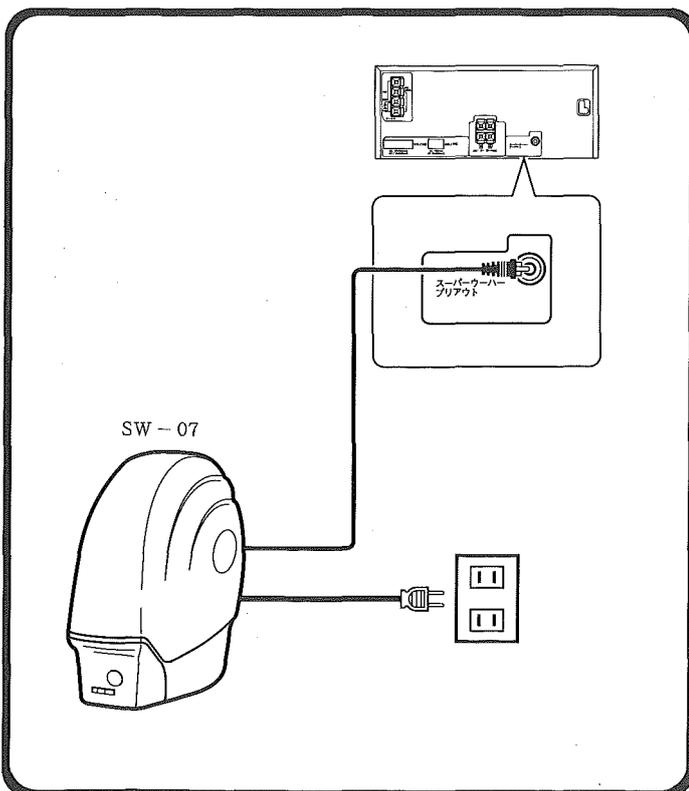


- ③レバーを戻す



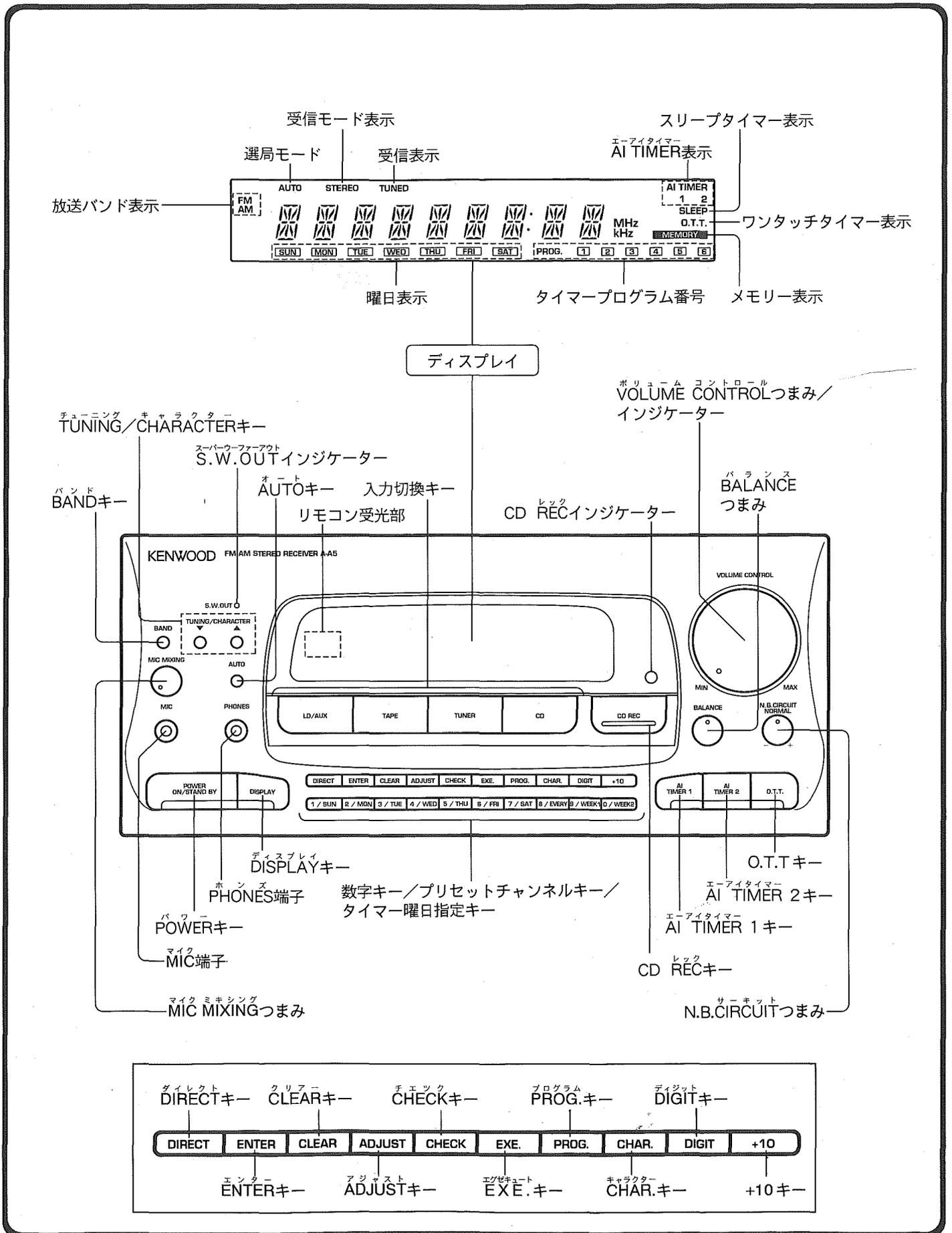
- スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
- 左右を逆にしたり、極性をまちがえて接続しますと、楽器などの位置がはっきりせず、不自然な音となります。正しく接続してください。

■ スーパーウーファーの接続



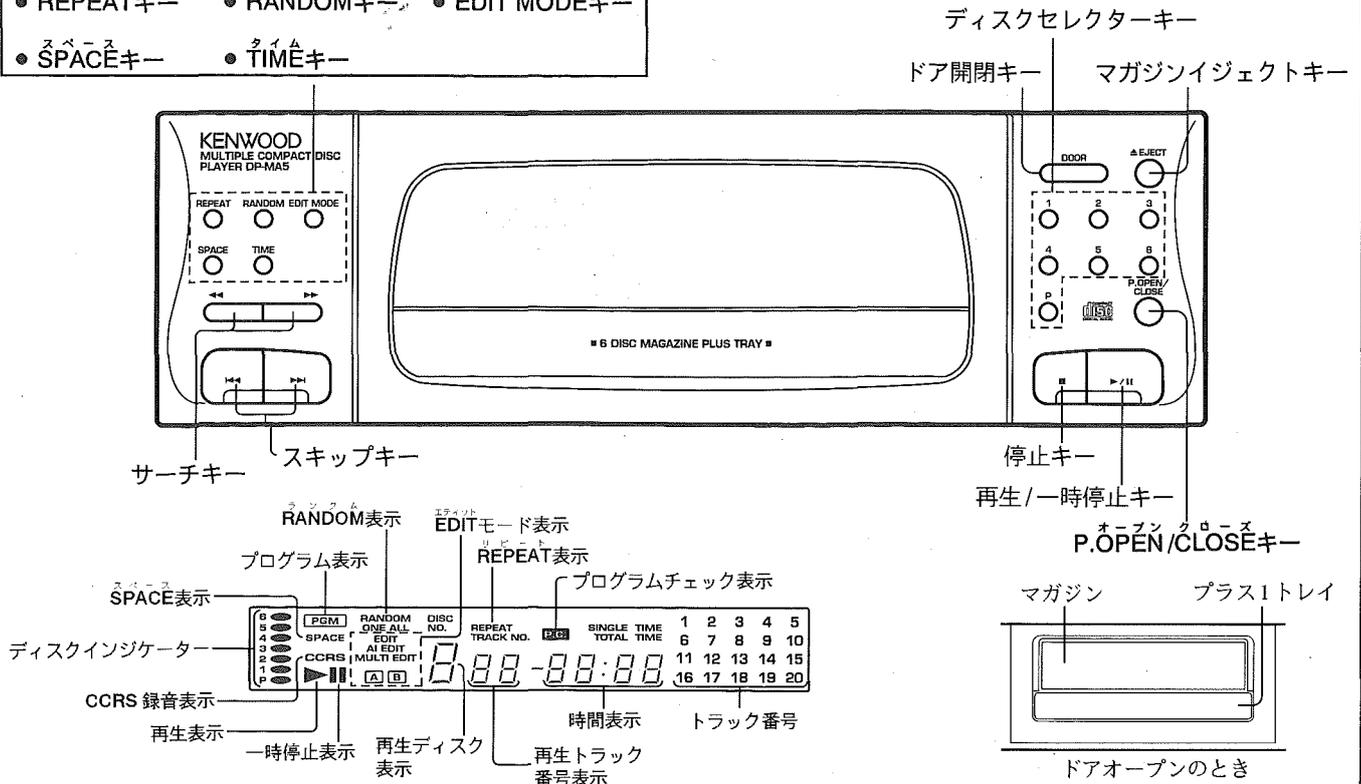
各部の名称

レシーバー部

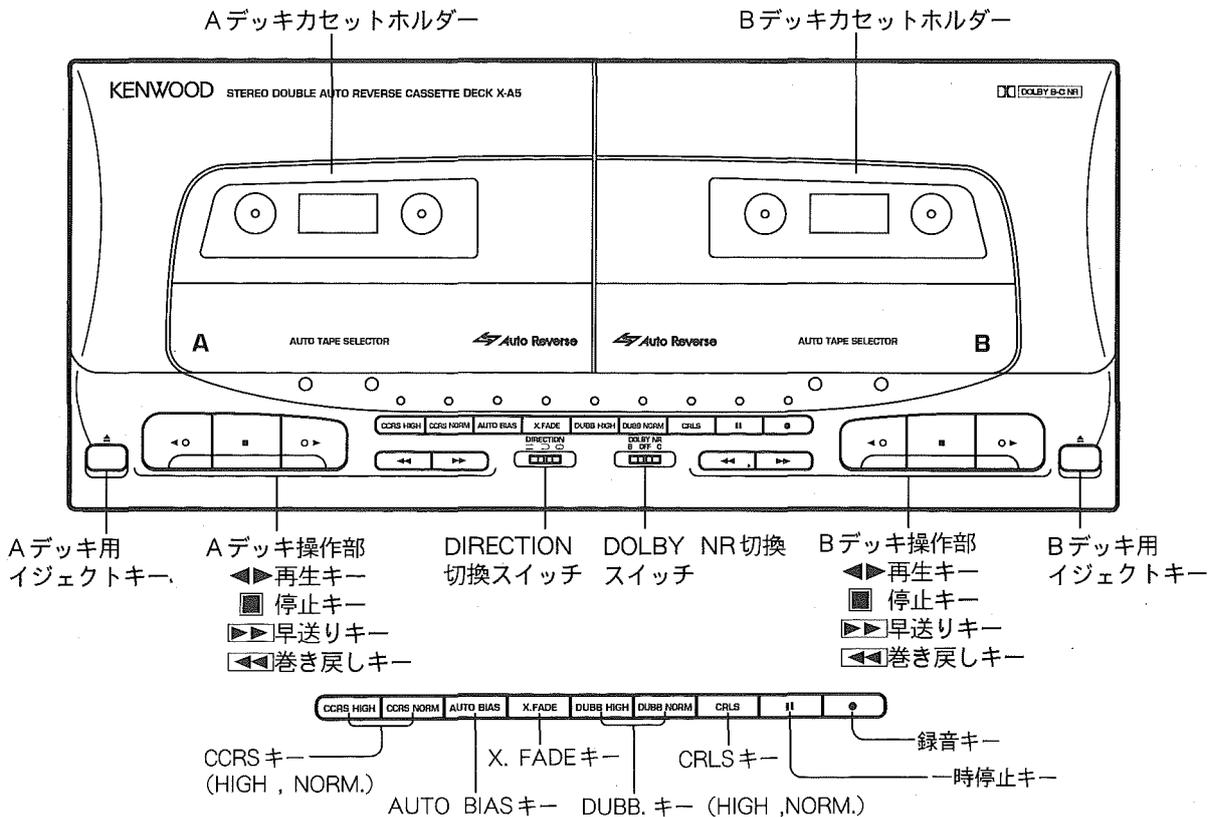


CD プレーヤー部 (DP - MA5)

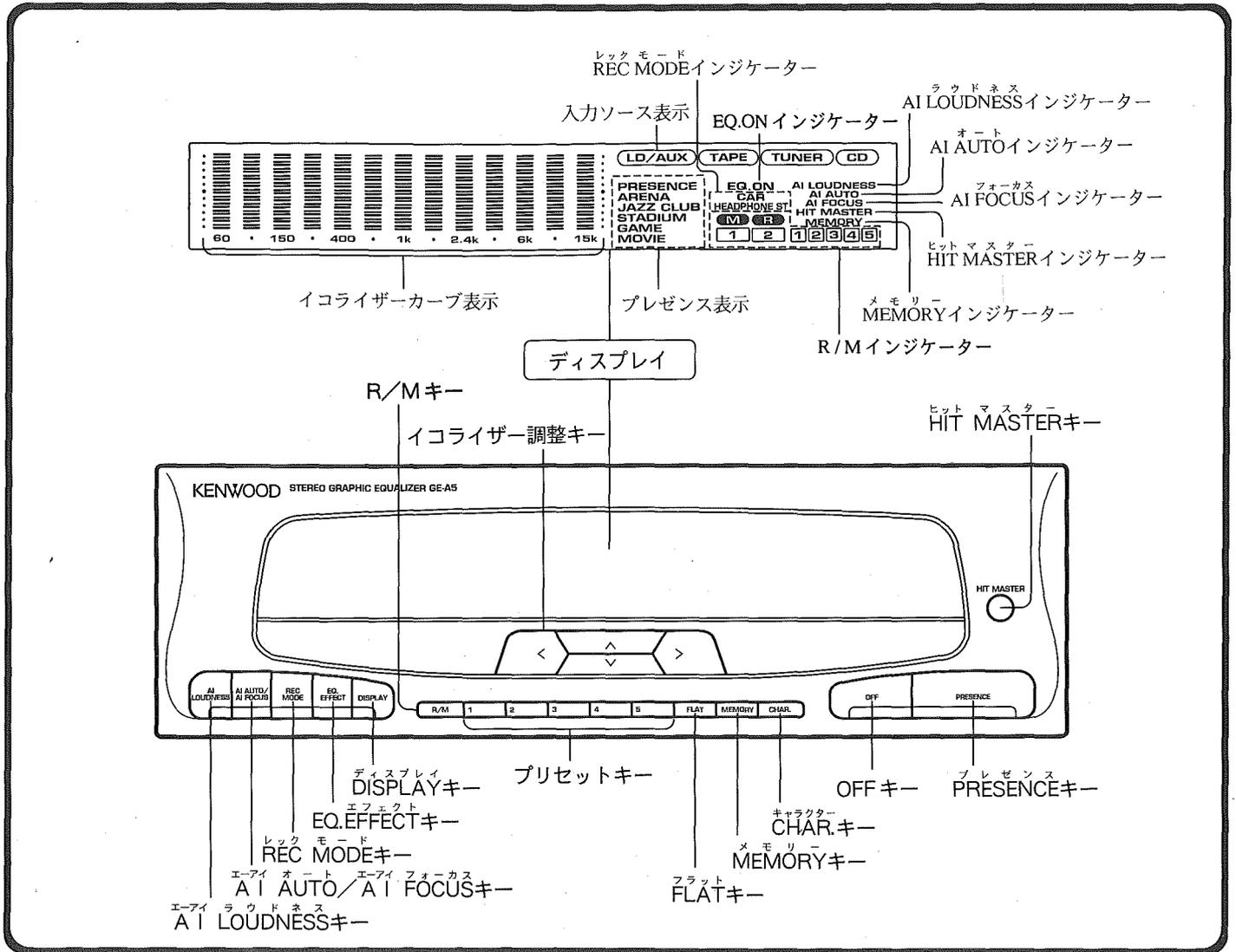
- REPEATキー
- RANDOMキー
- EDIT MODEキー
- SPACEキー
- TIMEキー



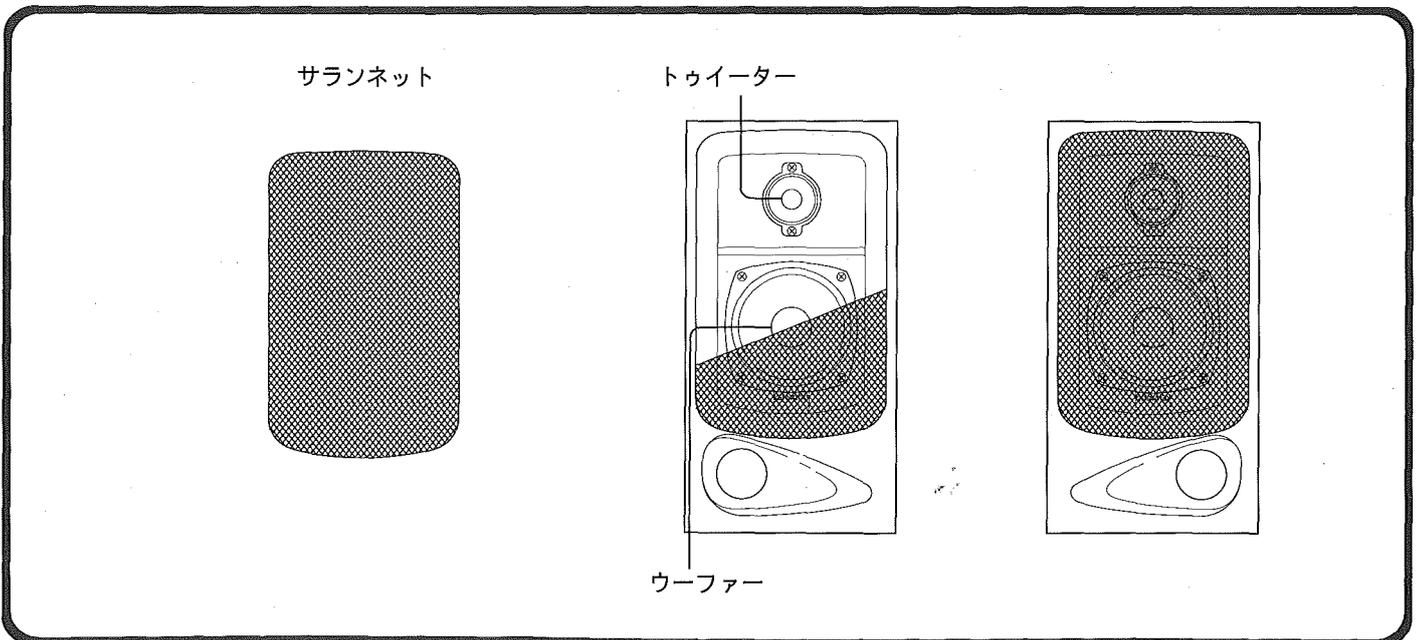
カセットデッキ部



グラフィックイコライザー部



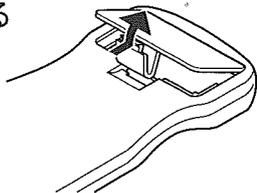
スピーカー部



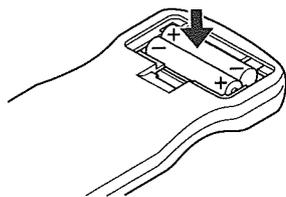
リモコンの使いかた

■電池の入れかた

1 ふたを開ける

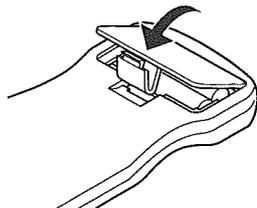


2 電池を入れる



単4乾電池 (R03/UM-4) 2個を極性マークに従って入れる。

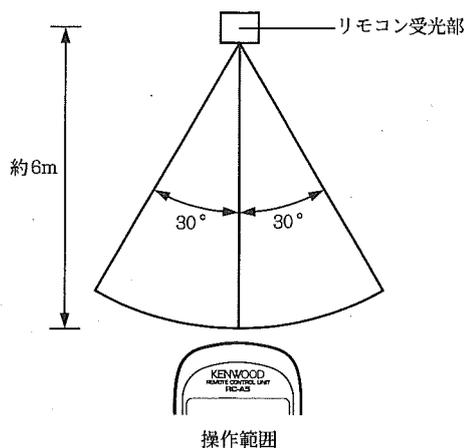
3 ふたを閉める



■操作のしかた

レシーバーの電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの **POWER** キーを押すと、電源が ON になります。電源が ON になったら、操作したい機器のキーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次の操作キーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

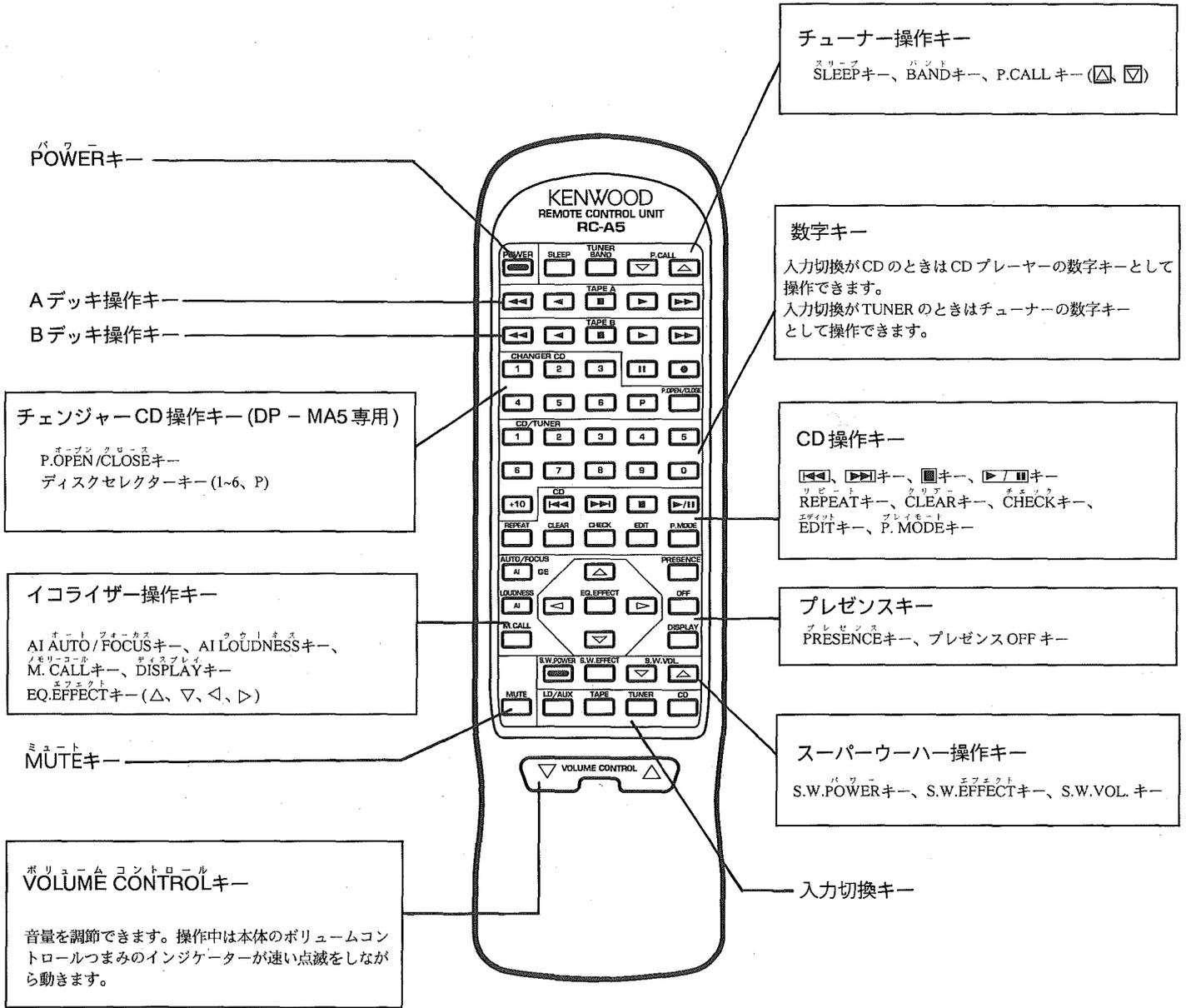


ご注意:

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

■キーの名称と働き

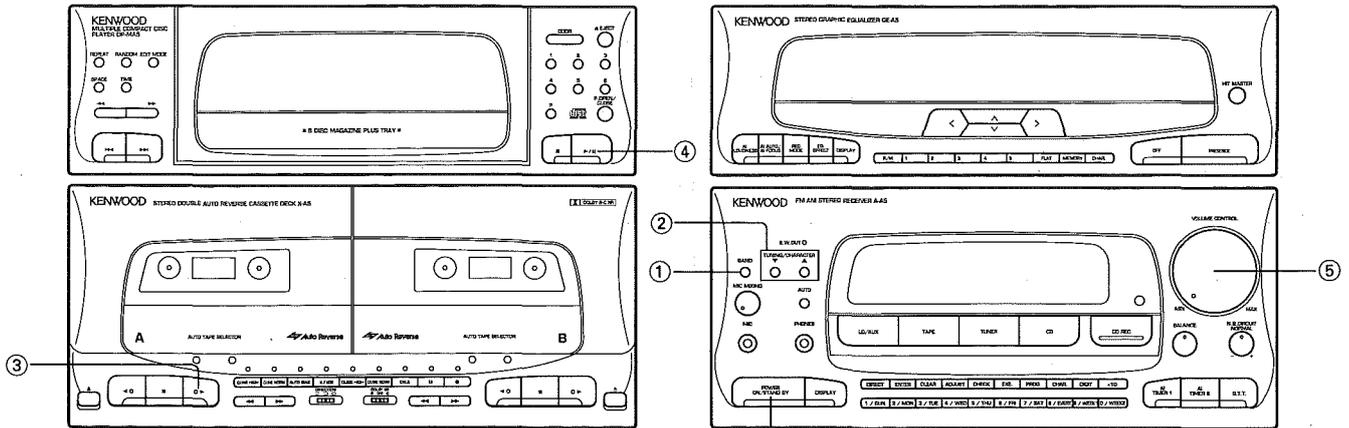
リモコンの使いかた



型名 : RC - A5
赤外線方式

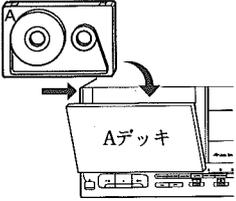
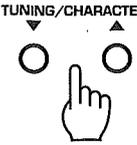
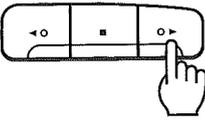
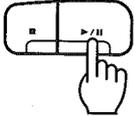
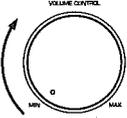
音を出してみよう

詳しくは、各機器の操作ページをご覧ください。
レシーバー部の時刻合せは、次のページをお読みください。



レシーバーの電源キー
(POWER)を押す

音を出してみよう

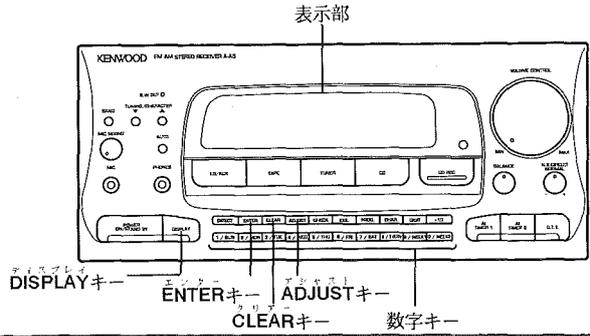
	放送をきくとき	テープをきくとき	CDをきくとき
1	<p>チューナーを選ぶ BAND キー①を押し、放送バンドを選ぶ。</p> 	<p>テープをAデッキに入れる</p> 	<p>ディスクをトレイに入れる</p> 
2	<p>放送局を選ぶ TUNING/CHARACTER ②を押す。</p> 	<p>再生する 再生キー③を押す。</p> 	<p>再生する ▶/II キー④を押す。</p> 
3	<p>音量を調節する</p> 		

● VOLUME CONTROLつまみ⑤を右にまわして、音の大きさを決めます。

ご注意: 音が出ない場合は6ページ以降の“システム接続のしかた”を、もう一度確認してください。

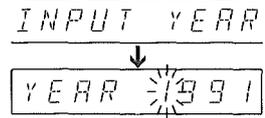
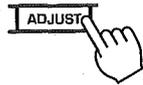
時刻合わせ

レシーバーには、時計機能がついています。タイマーを使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。



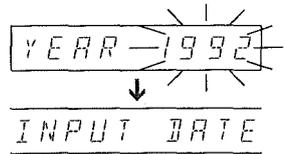
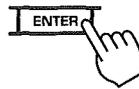
時刻合わせ

1 ADJUST キーを押す



2 西暦年を数字キーで入力し、ENTER キーを押す

1992年 : [1]、[9]、[9]、[2]と入力する

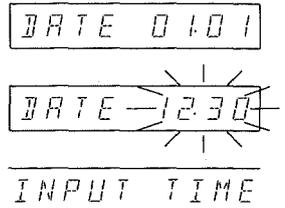
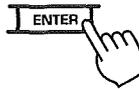


● 数字キーを間違えて押したときは、[CLEAR] キーを押して、やり直してください。

3 月、日を入力し、ENTER キーを押す

3月7日 : [0]、[3]、[0]、[7]と入力する

12月30日 : [1]、[2]、[3]、[0]と入力する



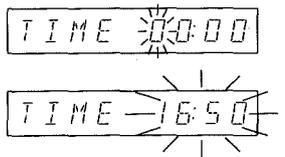
● 数字キーを間違えて押したときは、[CLEAR] キーを押して、やり直してください。

4 時刻を合わせる

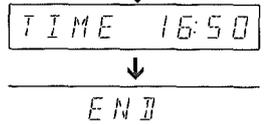
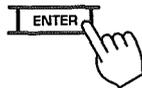
午前9時5分 : [0]、[9]、[0]、[5]と入力する

午後4時50分 : [1]、[6]、[5]、[0]と入力する

● 数字キーを間違えて押したときは、[CLEAR] キーを押して、やり直してください。



5 ENTER キーを押す



● 時報と同時に押すと正確な時刻合わせができます。

時計が動き出します。

ご注意 :

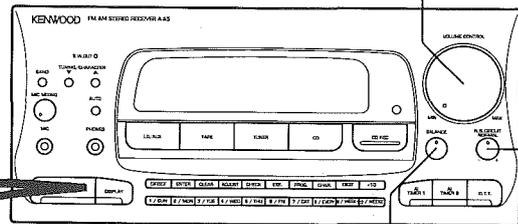
停電があったり、電源プラグをコンセントから抜いたときは時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

ディスプレイの表示と DISPLAY キー

[DISPLAY] キーを押すごとに、放送局を受信しているときは、周波数→放送局名→現在時刻→月日に切り換わります。年月日または時刻表示のとき、チューナーの選局に関するキーを押すと、自動的に周波数表示に切り換わり、数秒後、元の表示に戻ります。電源がOFFのときは、月日/時刻表示の切り換えになります。

音の調節のしかた

VOLUME CONTROLつまみ

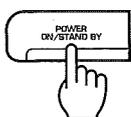


BALANCEつまみ

N.B. CIRCUITつまみ

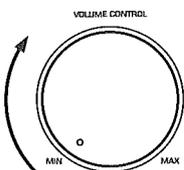
レシーバーの電源キー (POWER) を押す。

- レシーバーの POWER キーだけで基本システムの電源 ON/OFF ができます。



リモコン

■ 音量を調節する



リモコン

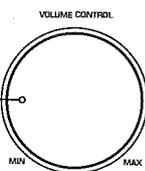
- リモコンで調節すると、キーを押している間、VOLUME CONTROL つまみのポイントインジケーターが点滅しながら回転します。

一時的に音を消したいとき

リモコンのみ



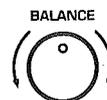
点滅



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。

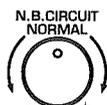
■ 左右の音量バランスを調節する

右側の音が小さくなる



左側の音が小さくなる

■ 重低音の補正



N.B. CIRCUIT: Natural Bass CIRCUIT

- 通常は NORMAL の位置にしておいてください。
- より自然な低音にするために調節します。

POWER スイッチの STAND-BY について

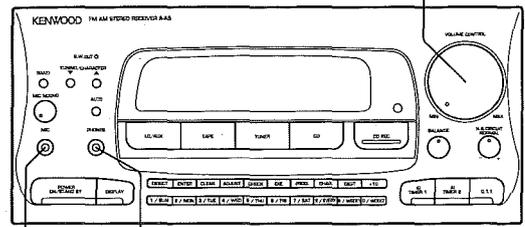
本機では電源プラグをコンセントに接続すると、電源 ON/OFF に関係なくディスプレイが点灯します。これは電源 OFF 時にも、メモリーの保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。ディスプレイが点灯しているとき、リモコン操作によっても電源の ON/OFF ができます。

レシーバーの入力切換とイージーオペレーション機能について

レシーバーの入力切換キー (TAPE、TUNER、CD) を押すだけで、選んだ機器が再生を始めます。逆に、ソースになる機器を再生させると、入力切換キーが自動的にその機器に切り換わります。

リモコンでも同様に操作できます。

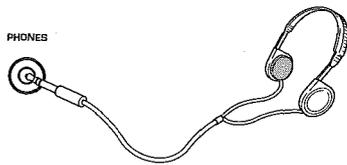
なお、電源を入れたときは、電源を切る前にきいていた入力ソース (TUNER、CD など) になります。



MIC端子 PHONES端子

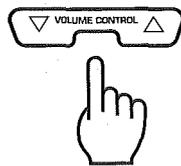
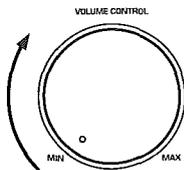
■ヘッドホンで大きく

- 1 ヘッドホンのプラグを PHONES端子に差し込む



- すべてのスピーカーから音が出なくなります。

- 2 音量を調整する



リモコン

- プラグを抜くときは音量を絞ってから抜いてください。

■スーパーウーファーで重低音を楽しむ

別売りのスーパーウーファーを接続すると、臨場感ある重低音が楽しめます。(9ページ参照)

- 1 S.W. EFFECT キーを押す



リモコン



レーザー部

- レーザーの“S.W.OUT”インジケーターが点灯。

- 2 スーパーウーファーの音量を調節する

リモコンかスーパーウーファーのボリュームコントロールで調節する

- スーパーウーファーの音量を一度決めると、あとは VOLUME CONTROL だけで、同じバランスのまま増減します。

CD REC キーについて

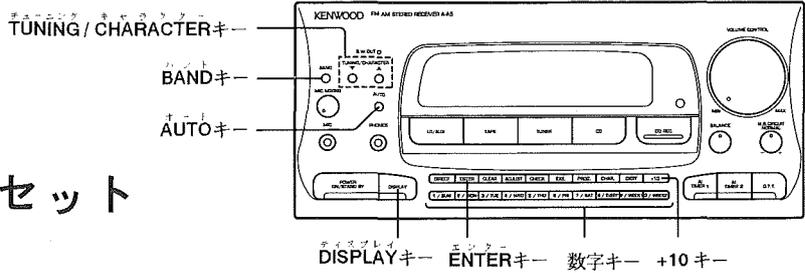
47ページの“CD REC キーの使いかた”をお読みください。

マイクの接続について

55ページの“簡単にカラオケを楽しむには”をお読みください。

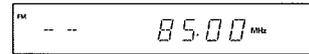
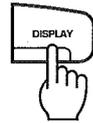
放送受信のしかた

■放送を受信し、プリセットする (記憶させる)



1 周波数表示にする

- **DISPLAY** キーを押すごとに
周波数→放送局名→現在時刻→月日 と表示が変わります。



周波数表示

2 放送バンドを選ぶ

- 放送受信に関するキーを押すと表示は他の表示になっているときでも数秒間、周波数表示になります。



BAND キーを押すごとに放送バンドが切り換わります。

FM ↔ AM

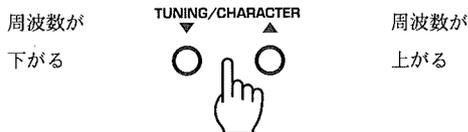
3 選局モードを選ぶ

- 通常は AUTO(点灯) にしておきます。



キーを押すごとにオート選局 (AUTO 点灯) またはマニュアル選局 (AUTO 消灯) になります。

4 希望する放送局を受信する

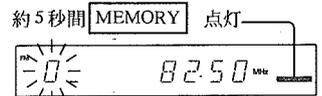
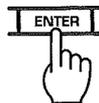


- 放送局を受信すると "TUNED" が点灯する。
- 電波が弱く雑音が多いときは、マニュアルで受信してください。このとき FM 放送は強制 MONO となります。

オート選局のとき	マニュアル選局のとき
1回押す (放送局を受信すると自動的に止まる)	希望局を受信するまで 繰り返し押す、 または、押し続ける

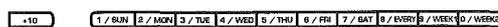
5 放送局を記憶させる

① ENTER キーを押す



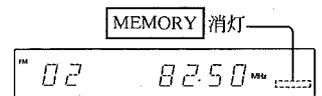
- **MEMORY** が点灯しているうちに②を行います。

② 数字キーを押す



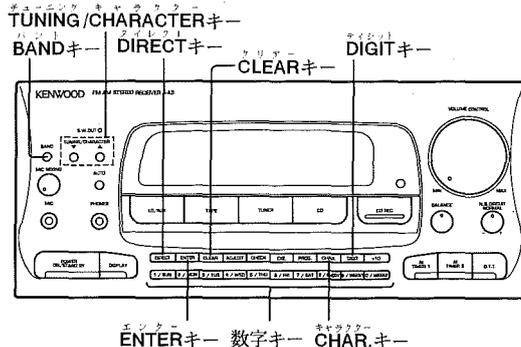
入力例:

"15" にプリセットするとき: **+10** **5**
 "20" にプリセットするとき: **+10** **+10** **0**



- すでにプリセットした数字キーを押すと、新しい放送局が変わります。
- プリセットを続けるときは、手順2から5までを繰り返します。
- 放送バンドに関係なく、放送局を20局記憶させることができます。

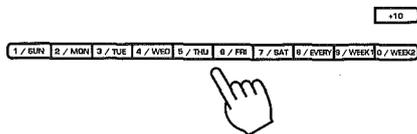
放送受信のしかた



■プリセットした局を受信する

希望する放送局を選ぶ

プリセットした数字キーを押す

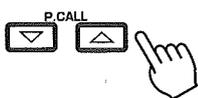


●受信した放送局の周波数を表示します。

■プリセットした局を順にきく (プリセットコール)

リモコンのみ

P. CALL キーを押す



- ▲ (UP) を押すごとに 1 → 2...19 → 20 → 1...、▼ (DOWN) を押すごとに、20 → 19...2 → 1 → 20... の順でプリセットされている放送局を受信します。
- キーを押し続けると、プリセットされている放送局を0.5秒間隔で受信します。手を離れたときの放送局をそのまま受信します。

■数字入力を受信する

放送局の周波数がわかっているとき、数字キーで直接入力し、受信することができます。

1 放送バンドを選ぶ

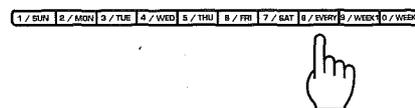
FM, AM のいずれか



2 DIRECT キーを押す



3 受信したい周波数を数字キーで入力する



入力例

受信したい局	数字キーを押す順序
AM 810 kHz	8 1 0
AM 1242 kHz	1 2 4 2
FM 80 MHz	8 0 0
FM 82.5 MHz	8 2 5

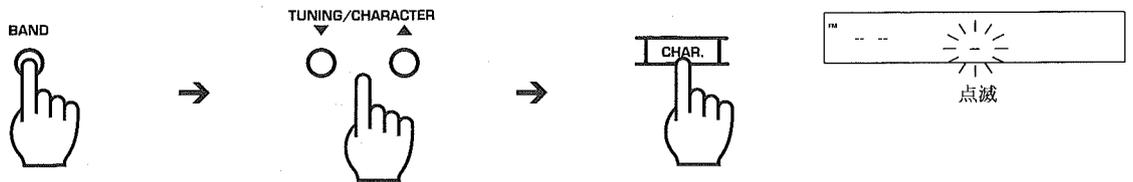
- 途中で間違えたときは、CLEAR キーを押し、やり直してください。

■放送局名を表示させる

文字や記号などを最大4文字まで表示できます。

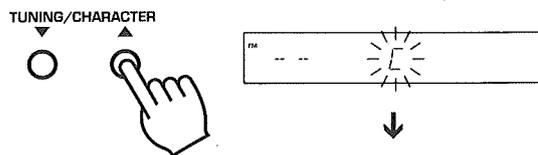
例：FM 83.4 MHzを受信し、“CBE”と文字を入力し、数字キーの**3**にプリセットするとき。

1 FM 83.4 MHzを受信し、文字入力待ち状態にする

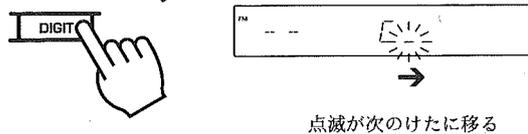


2 表示したい文字を入力する

①表示する文字を出す



②確定する



点滅が次のけたに移る

③手順①,②をくり返し、必要な文字を入力します。

- “C”を入力するときはUP側を3回押します。
- スペースのときは、**DIGIT**キーを押します。

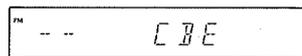
入力できる文字の種類

CHAR.キーを押したあと
TUNING/CHARACTERキーを押すと、
文字が表示できます。

→ ABCD.....XYZ012...9
← / * - +
— ブランク (空白スペース)

3 文字入力を終了する

4文字入力した時は自動的に終了します。



3文字以内で終了するときは、確定後、**CHAR.**キーを押します。



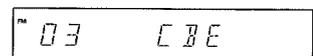
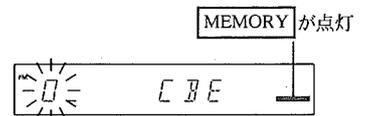
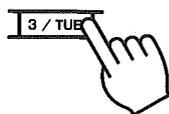
途中で間違えたときは、**CLEAR**キー
を押し、1けた目からやり直します。

4 数字キーの**3**に記憶させる

①ENTERキーを押す



②数字キーで**3**を選ぶ

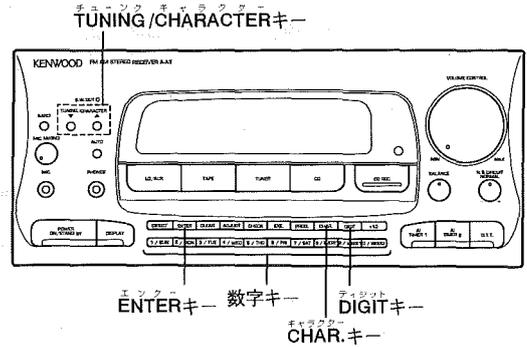


(**DISPLAY**キーを押して放送局名表示にしたときの例)

MEMORYが点灯しているうちに押す

■放送局名を変更する

例：数字キーの「2」にメモリーされている、「FHN 8」という AM810kHz の局名を「FEN」に変更するとき。



放送受信のしかた

1 「2」をプリセット選局し、文字入力待ち状態にする



2 点滅を次のけたに移す



3 TUNING/CHARACTER キーで、「E」を選ぶ



4 点滅を2けた移す



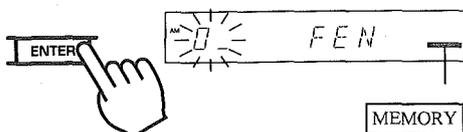
5 TUNING/CHARACTER キーで、ブランクを選ぶ



● 4文字目の入力が終了すると自動的に文字入力終了になります。

6 数字キーの「2」に記憶させる

① ENTER キーを押す

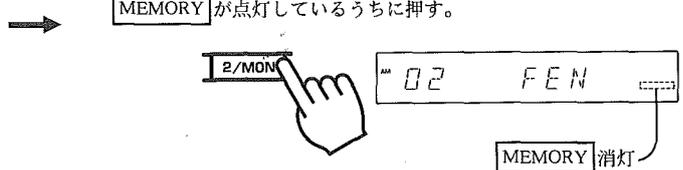


MEMORY 点灯

DISPLAY キーを押して放送局名表示にしたときの例)

② 数字キーで「2」を選ぶ

MEMORY が点灯しているうちに押す。



MEMORY 消灯

グラフィックイコライザーの操作

本機は周波数を細かく調整できる本格的なグラフィックイコライザーです。リスニングルームの音響補正ができるだけでなく、次のような^{エーアイ}AI（人工知能）機能により、音楽ソースに適した音質で聴くことができます。

1. AI-AUTO (CD 通常再生専用)

ディスクの収録内容を自動的に確認、分析し、そのディスクに適したイコライザーカーブで再生します。

2. AI-FOCUS (CD プレゼンス再生専用)

選ばれたプレゼンスに対しディスクの収録内容を確認し、そのプレゼンスに適したイコライザーカーブが自動的に設定され、その場にいるような臨場感をつくりだします。

3. AI-LOUDNESS

ボリューム位置に対応し、低域と高域が増強されます。小音量時に効果的です。

4. REC MODE (録音用カーブ)

カーステレオで再生するための録音用に“CAR”と、ヘッドホンステレオで再生するための録音用に“HEADPHONE ST”を用意しました。

5. MANUAL/REFERENCEモード

REFERENCE : 10種類のプリセットパターンが登録されています。

MANUAL : 5種類のプリセットパターンが登録されていますが、このモードでは、自分で作ったイコライザーパターンを登録(記憶)することもできます。

それぞれ数字キーで簡単にイコライザーパターンを呼び出したり、登録するときに便利です。

6. AI-LINK

プレゼンスモードを選ぶと、そのモードに最適なイコライザーカーブが自動的に選ばれ、プレゼンス効果を高めます。

7. CHARACTER

スペクトラムアナライザー表示のとき、再生している音楽のレベルや周波数分布の変化を4つの異なったパターンで表現します。

スペクトラムアナライザー 1 (ノーマル): 通常のスペクトラムアナライザー表示。

2 (シャワー): ノーマルのリバース表示。

3 (水平): 縦を周波数、横をレベルとしてセンターを軸に左右対称に表示されます。

4 (シースルー): ピーク値だけが表示されます。

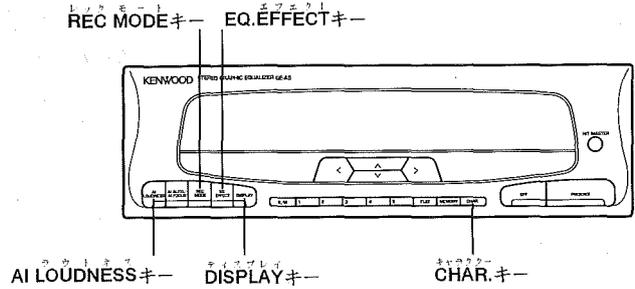
プレゼンスキーについて

56ページの“プレゼンスについて”をお読みください。

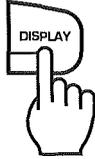
HIT MASTERキーについて

55ページの“簡単にカラオケを楽しむには”をお読みください。

AI: ^{アーティフィシャルインテリジェンス}Artificial Intelligenceの略。ソースや音楽のジャンルに合わせて、人工知能が自動的に音質を調整します。

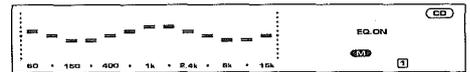
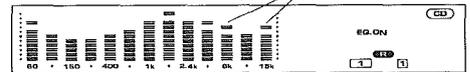


ディスプレイについて



DISPLAY キーを押すごとに、
表示モードが順に切り換わります。

スペクトラムアナライザー表示 ピークホールドレベル



グラフィックイコライザー表示

スペクトラムアナライザー表示

再生中の音楽ソースの周波数分布を、一目でわかるように表示します。

各周波数ごとに変化しているレベルのピーク値が、瞬時変わります。

グラフィックイコライザー表示

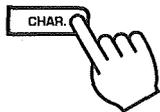
各周波数が、どのように補正されているかを表示します。

スペクトラムアナライザー表示のときにも、以下の操作をしたときだけ、約5秒間、グラフィックイコライザー表示に変わります。

1. 電源を入れたとき。
2. その他、イコライザー操作に関連するキーを押したとき。

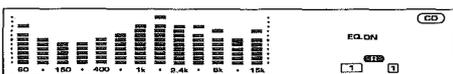
キャラクター表示

スペクトラムアナライザー表示のときに CHAR. キーを押してください。



CHAR. キーを押すごとに、
表示モードが順に切り換わります。

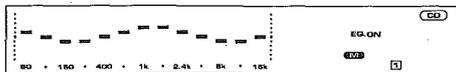
ノーマル



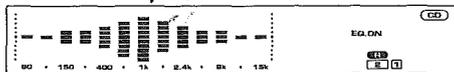
シャワー



シースルー



水平

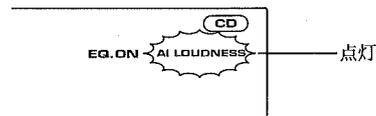
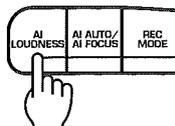


グラフィックイコライザーの操作

■ AI LOUDNESS の使いかた

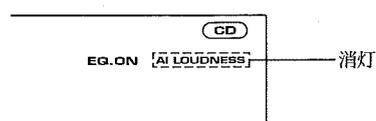
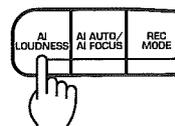
音量が小さいときの低音と高音不足を自動的に補います。

AI LOUDNESS 効果をかける



- 現在、選ばれているイコライザーカーブは、音量の大きさに対応したラウドネスカーブと合成されます。
- **REC MODE** キーで“CAR”、“HEADPHONE ST”が選ばれているときは、AI LOUDNESS はかけられません。
- 本機のカセットデッキ以外で録音をするときは、AI LOUDNESS を解除してください。

AI LOUDNESS を解除するには もう一度押す



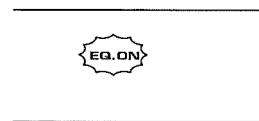
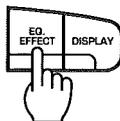
- もとのイコライザーカーブに戻ります。

■ REC MODE の使いかた

カーステレオ、ヘッドホンステレオ用のテープを作るときにお使いください。

1 音楽ソースを再生する

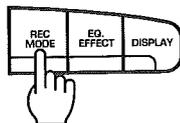
2 イコライザーを ON にする



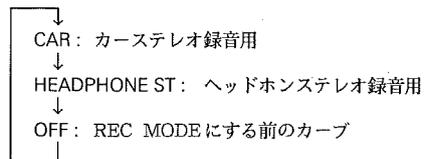
3 好きなカーブにする

AI AUTO、またはパターン R1-1~5、R2-1~5、M1~M5 の中から好きなカーブを選ぶ。30 ページをらんください。

4 REC MODE を選ぶ



押すごとに切り換わります。

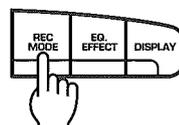


- 現在、選ばれているイコライザーカーブは、カーステレオ録音用、またはヘッドホンステレオ録音用のカーブと合成されて聞こえます。
- REC MODE を選ぶと AI LOUDNESS は自動的に解除されます。
- 通常のイコライザーとして使うときや、カーステレオ、ヘッドホンステレオ以外の一般録音のときは、OFF(消灯)を選びます。

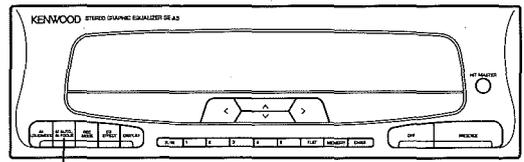
5 録音する

44 ページをらんください

REC MODE を解除するには キーを押して、OFF(消灯)を選ぶ



- ディスプレイ上は、合成される前のカーブに戻ります。



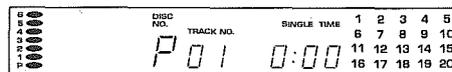
AI AUTO/AI FOCUSキー

■ AI AUTO の使いかた (CD 通常再生専用)

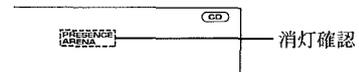
プレゼンスがOFFのときにAI AUTO/AI FOCUSキーを押すだけで、そのディスクに合ったイコライザーカーブが自動的に設定されます。

1 CDプレーヤーにディスクを入れる

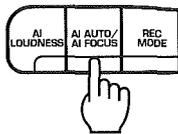
ききたいディスクを選びます。



プレゼンス表示が消えていることを確認する。



2 AI AUTO/AI FOCUSキーを押す

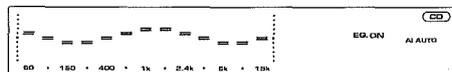


CDのサンプリング中



AI AUTO が点滅

約30秒後、終了し、停止する



EQ.ON と AI AUTO が点灯

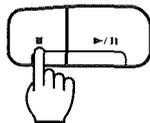
● EQ.ON と AI AUTO が点灯するまで約30秒間お待ちください。

CDプレーヤーが自動的に再生を始めます

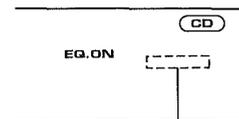
ご注意:

AI AUTO 設定中は、AI AUTO/AI FOCUS キー以外は機能しません。

AI AUTO を解除するには

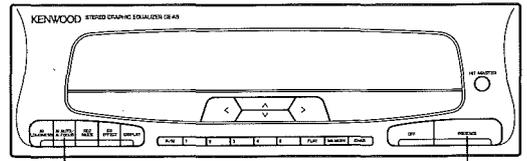


CDプレーヤーの停止キー



AI AUTO 消灯

- イコライザーカーブはフラットになります。
- AI AUTO 設定途中に解除すると最後に選んでいたパターンが表示されます。



AI AUTO/AI FOCUSキー

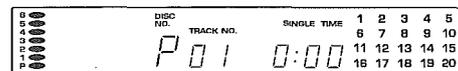
PRESENCEキー

■ AI FOCUSの使いかた (CDプレゼンス再生専用)

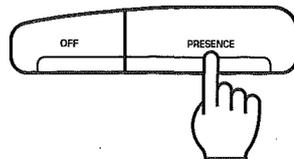
プレゼンスモードを選びAI AUTO/AI FOCUSキーを押すだけで、そのディスクの収録内容に適したイコライザーカーブが自動的に設定されます。

1 CDプレーヤーにディスクを入れる

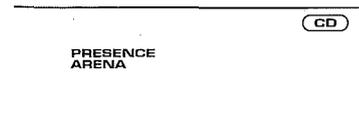
ききたいディスクを選びます。



2 プレゼンスモードを選ぶ

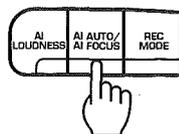


プレゼンスモード



●プレゼンスモードについては56ページをお読みください。

3 AI AUTO/AI FOCUSキーを押す

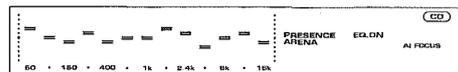


CDのサンプリング中



AI FOCUS が点滅

約30秒後、終了し、停止する



EQ.ON と AI FOCUS が点灯

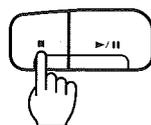
- “AI FOCUS” が点灯するまで約30秒間お待ちください。
- 選ばれたプレゼンスモードに対応したイコライザーカーブが設定されます。
- AI FOCUS 設定後プレゼンスモードを変えると、選ばれたプレゼンスモードに対応したイコライザーカーブが設定されます。

CDプレーヤーが自動的に再生を始めます

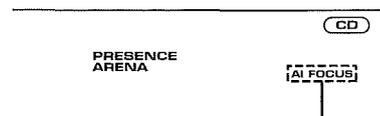
ご注意:

AI FOCUS 設定中は、**AI AUTO/AI FOCUS** キー以外は機能しません。

AI FOCUSを解除するには

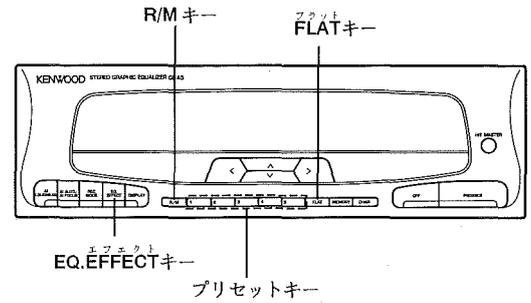


CDプレーヤーの停止キー



AI FOCUS 消灯

- AI FOCUS 設定中に解除すると、最後に選んでいたパターンが表示されます。
- AI FOCUS 設定終了後に解除すると、カーブはフラットになります。



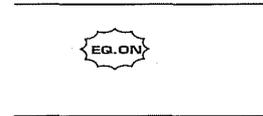
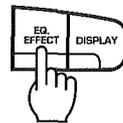
REFERENCE/MANUAL の使いかた

15通りのイコライザーパターンを手軽に呼び出すことができます。MANUALモードのイコライザーパターンは、主にプレゼンス強調用としてご使用ください。

グラフィックイコライザーの操作

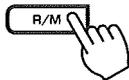
1 音楽ソースを再生する

2 EQ.EFFECT キーを押す

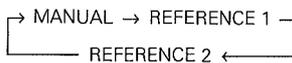


3 イコライザーパターンを選ぶ

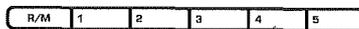
①MANUAL または REFERENCE にする



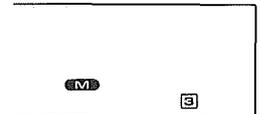
押すごとに切り換わります。



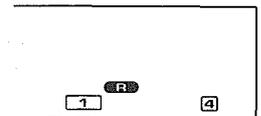
②お好みのパターンを選ぶ
(30ページのイコライザーパターン一覧表参照)



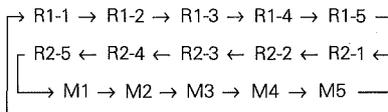
MANUAL モードで
"3" を選んだとき



REFERENCE 1 モードで
"4" を選んだとき

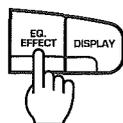


リモコンで操作するときは



押すごとに切り換わります。

イコライザー効果を解除するには

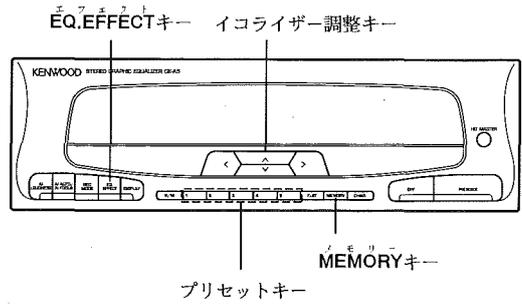


- ディスプレイ上のパターンはそのままです。

FLAT キーの使いかた



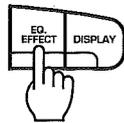
- FLAT キーを押すと、カーブはフラット(平坦)になります。
- AI LOUDNESS 時はラウドネス効果がかかっているため表示はフラットになりません。



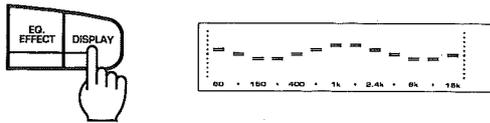
■自分で作ったパターンの記憶のしかた (M1~M5)

1 好きなイコライザーパターンを作る

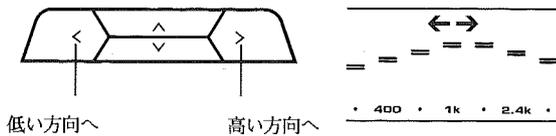
①音楽ソースを再生し、EQ.EFFECT キーを押す



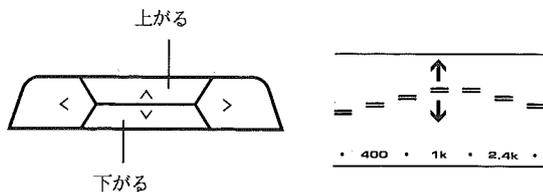
②グラフィックイコライザー表示にする



③調整したい周波数を選ぶ



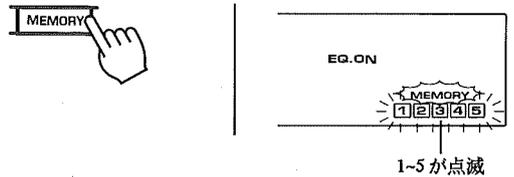
④レベルを調整する



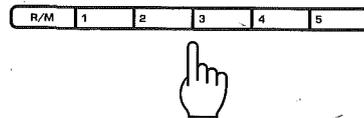
⑤他に調整したい周波数があれば、②、③を繰り返す

2 イコライザーパターンを記憶させる

① MEMORY キーを押す



② プリセットキーを押す

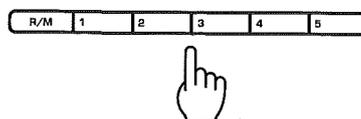


MEMORY の点灯中に押す

- 押された番号のプリセットキーに記憶されます。
- 同様にして5つまで記憶できます。
- すでに記憶されているプリセットキーを押したときは、新しい記憶内容に変わります。
- AI LOUDNESS ON 時は、パターンの記憶はできません。

自分で作ったパターンを記憶したあと、もとのパターン (プリセット M1~M5) に戻すには

戻したい番号のプリセットキーを5秒以上押し続ける

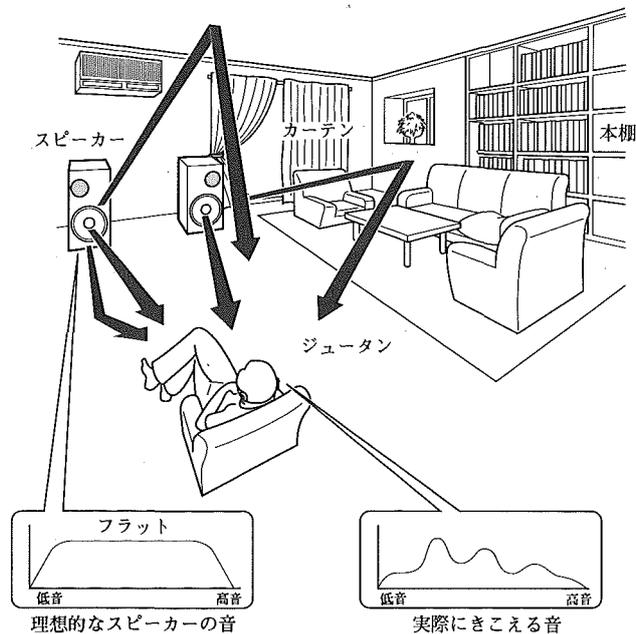


■イコライザーパターン一覧表

15通りのイコライザーパターンを手軽に呼び出すことができます。お好みに合わせてご使用ください。

プリセット (R1-1~5) イコライザーパターン REFERENCE1 「ベーシック」	
R1-1	(Popular,Fusion) フュージョンや、ポピュラー音楽のボーカルを浮き立たせ、適度に低域と高域を補った音にします。
R1-2	(Rock) ロック音楽のボーカルを浮き立たせ、適度に低域と高域を補った音にします。
R1-3	(Jazz) ジャズ音楽のボーカルやピアノ、サックスなど中域を浮き立たせ、適度に低域と高域を補った音にします。
R1-4	(Classic) 適度に低域、中域、高域を補い、整った音にします。
R1-5	(Movie) せりふがはっきりと聞こえ、適度に低域と高域を補った音にします。
プリセット (R2-1~5) イコライザーパターン REFERENCE2 「スケール」	
R2-1	(Popular,Fusion) はっきりとボーカルが聞こえ、低域、高域ともに強調したメリハリのある音にします。
R2-2	(Rock) ボーカルを浮き立たせ、ベース、ギター、ドラム等の低域と高域を強調し、迫ってくるような音にします。
R2-3	(Jazz) ボーカルやピアノ、サックスなどを浮き立たせるとともに、低域と高域を強調して、ベースやドラムの音が身近に迫ってくるような音にします。
R2-4	(Classic) 重厚な低域と力強い中域、伸びやかな高域となり、ダイナミックかつスケール感のある音になります。
R2-5	(Movie) せりふがはっきりと聞こえ、低域、高域はともに強調して迫力と臨場感のあふれた音にします。

プリセット (M1~M5) イコライザーパターン MANUAL 「クリアー」	
このモードではプリセットに登録が可能です。	
M1	(Popular,Fusion) フュージョンや、ポピュラー音楽のボーカルを浮き立たせ、中高域の音を強調し、すっきりした音にします。
M2	(Rock) ロック音楽のボーカルを浮き立たせ、中高域の音を強調します。
M3	(Jazz) ジャズ音楽のボーカルやドラムを浮き立たせ、中高域を強調し、すっきりした音にします。
M4	(Classic) 低域を控え、中高域を強調し、管楽器や歌声を伸びやかな音にします。
M5	(Movie) 低域、高域を抑え、せりふがはっきりと聞こえるような音にします。



リスニングルームの音響補正

リスニングルームは様々なものが置いてあり、音を反射したり、吸収したりして、実際に聞こえる音が、かなり変化します。低域から高域までフラットに聞こえるようにグラフィックイコライザーで周波数特性が調整できます。

- ベッドやイスなどで低音が吸収されやすい。
- カーテンなどで高音が吸収されやすい。
- 部屋の構造で低音がこもったり、周波数によって音が大きくなったり、小さくなったりする。

お好みに合わせて

色々な楽器や音声と一緒に聞こえるとき、特定の楽器や音声を強調したり、弱めたりすることができます。

音質調整について

重低音域の調整(60Hz)

これらのレベルコントロールを上昇させると、低音域の楽器、たとえばダブルベース、バスドラム、パイプオルガンなどがどっしりした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられるときには、適当と思われるところまで下降させます。

低音域の調整(150Hz)

日本の建築様式では、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、プーミーな感じになりやすいものです。したがって、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。

中低音域の調整(400Hz)

音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられるところ。もの足りない音だと思われるときには、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。

中音域の調整(1kHz)

この中音域を調整すると、バリトン・ソプラノなどの人の声が入っている曲では、歌手の声が前に出たり、奥にひっこむような感じになり、臨場感に大きな影響を与えます。音の奥行と深みに関係する帯域です。

中高音域の調整(2.4kHz)

この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられるところ。うまく調整すれば、爽快さや明るさがでてきますが、反面うるさい感じになることもあります。

高音域の調整(6kHz)

この周波数帯域は、かたい感じとか、やわらかい感じといわれるところ。上昇させると弦楽器(バイオリンなど)や管楽器(フルート、ピッコロなど)が強調され、艶のある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。

超高音域の調整(15kHz)

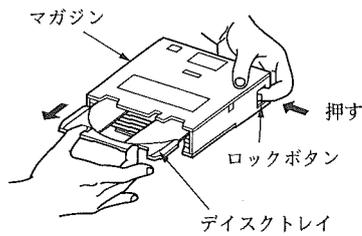
この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところ。上昇させると超高音域の楽器(トライアングル、シンバルなど)が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

CDのききかた

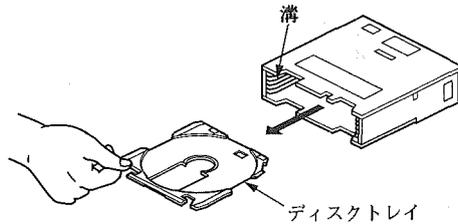
■マガジンにディスクを入れる

1 ディスクトレイを取り出す

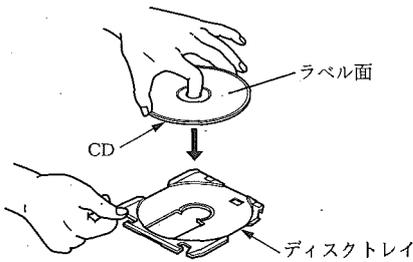
①ロックボタンを押しながら



②ディスクトレイを取り出す

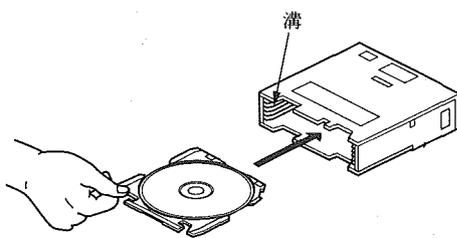


2 ディスクトレイにディスクをのせる

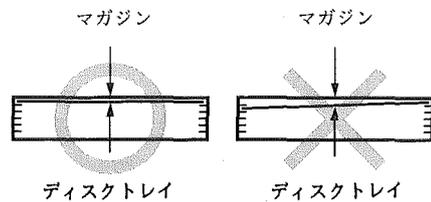


- 市販のCDシングル(8cm)ディスクアダプターは、本機では使用出来ません。CDシングル(8cm)ディスクを使用するときは、別売のCDシングル用マガジンCDM-608をお求めください。

3 ディスクトレイをマガジンに入れる



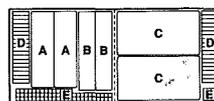
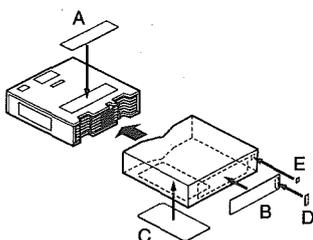
左右の溝に合わせて水平に入れる。



- ディスクは必ずディスクトレイにのせてマガジンに入れてください。
- ディスクの有無にかかわらずマガジンには、6枚のディスクトレイを入れておいてください。
- マガジンを持ち運ぶときは、水平に持ってください。

マガジンにラベルを貼る場合

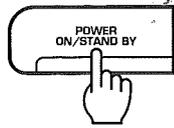
必ず指定された場所に貼ってください。



ラベルの使いかたの例:

- A: マガジンのタイトル
- B: 曲名
- C: マガジンのタイトル
- D: ディスクの名前
- E: カテゴリー

下記の操作をする前に必ずレシーバーの電源をONにする。



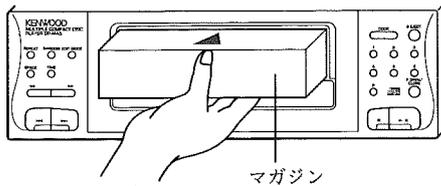
■ マガジンを入れる

1 ドアを開ける

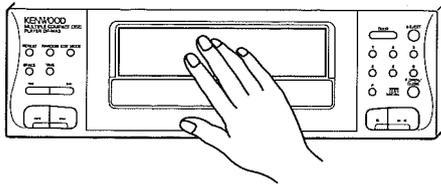


2 マガジンを入れる

①



②



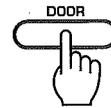
カチッというまで入れる。

3 ドアを閉める



■ マガジンを取り出す

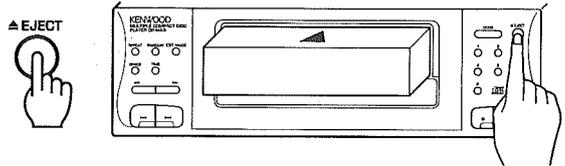
1 ドアを開ける



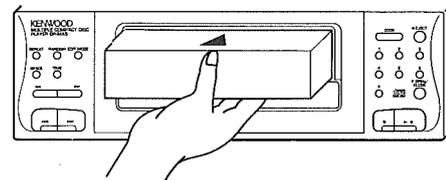
●イジェクトキーを押すと、ドアが開いてマガジンが出てきます。

2 マガジンを取り出す

①イジェクトキーを押す

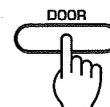


②マガジンを取り出す



マガジンの中心を持つ

3 ドアを閉める

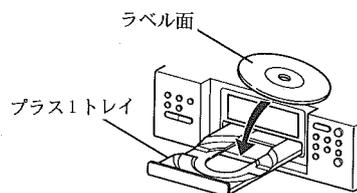


■ プラス1トレイにディスクを入れる

①プラス1トレイを開ける



② ディスクを入れる

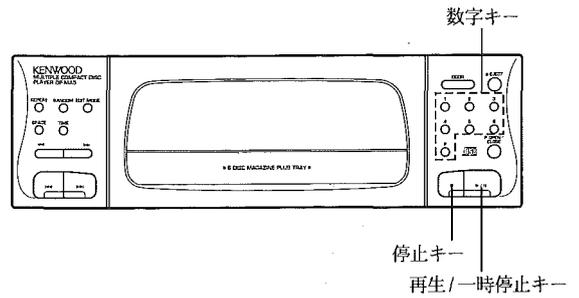


③ プラス1トレイを閉める



● ドアが開いてプラス1トレイが出てきます。

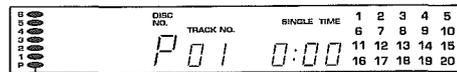
● プラス1トレイが閉じてドアが閉まります。



■ CDを始めからきく

1 マガジン、プラス1トレイにディスクを入れる

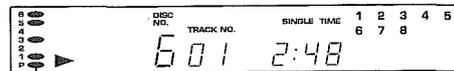
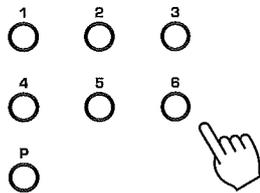
32、33ページを参照しながらディスクをいれます



ディスクの有無にかかわらず、すべてのディスクインジケーターが点灯します。

2 再生を始める

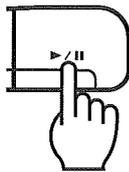
ディスクを選ぶ



選ばれたディスクがないとき消灯します。

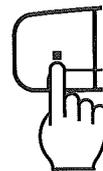
- 選ばれたディスクから再生が始まります。2枚以上ディスクが入っているときは、ディスクNo.順に再生されます。
- ディスクを選ばずに再生キー▶/||を押すと、自動的に次の順番で再生されます。(P→1→2→3→4→5→6) P: プラス1トレイ
- 1枚のディスクのみ再生するときは、マガジンを取り出しプラス1トレイのみに、ディスクを入れます。

一時停止する

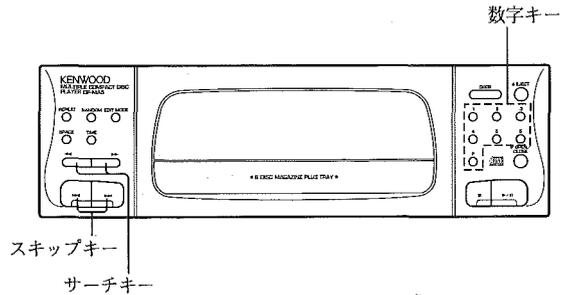


再生に戻るときは、もう一度▶/||キーをおす。

再生を止める



準備: レシーバーの入力切換をCDにします。

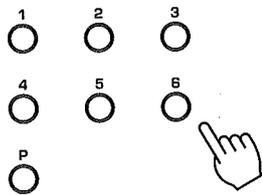


好きな曲からきく

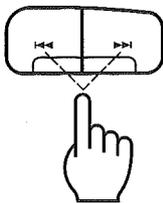
1 PGMインジケータ消灯を確認する

PGMが点灯しているときはP.MODEキーを押す
(リモコンのみ)

2 ききたいディスクを選ぶ



3 ききたい曲を選ぶ



ききたいTRACK No.になるまで押す

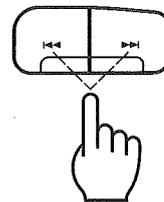


リモコンの操作キー

11曲目は、+10キーを1回
押してから1を押す。
20曲目は、+10キーを2回
押してから0を押す。

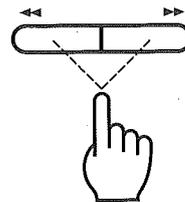
●選んだ曲以降を再生します。

曲を飛び越すには



- 押した方向に飛び越し、選んだ曲の頭から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻り、もう一度同じ曲をきくことができます。

早送り・早戻しをするには



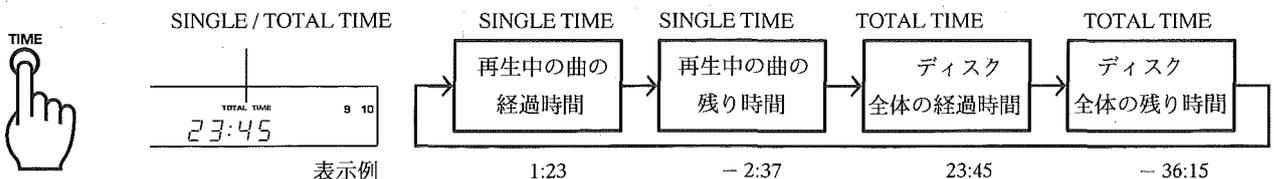
- 手を離したところから再生します。

CDのききかた

TIMEキーについて

再生中の曲の経過時間・残り時間を知りたいときは、TIMEキーを押してください。押すごとに、ディスプレイは下の図のように切り換わります。ただし、21曲目以降の曲の再生のときは、SINGLE TIMEの残り時間表示が“---:---”になります。

(PGMモードでは、SINGLE TIME表示のみです。)



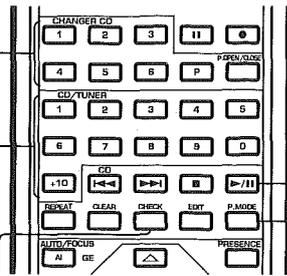
ご希望の曲を、お好みの順序で、最大32曲までプログラムし、再生できます。

準備: レシーバーの入力切換をCDにします。

ディスクセクターキー (1-6, P)

数字キー (1~0, +10)

CHECKキー



再生/一時停止キー

P.MODEキー

好きな曲を好きな順番できく (PGMモード)

リモコンのみ

1 PGMモードにする

P.MODEキーを押す PGM点灯

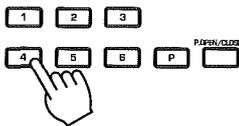


2 好きな曲を順に選ぶ

入力例

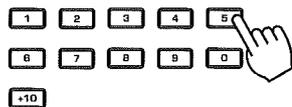
ディスク4の5曲目を選ぶ

①ディスクを選ぶ



- 約8秒間の間に手順②を行わないと、そのディスクのすべての曲をプログラムします。(1-DISCプログラム)

②曲を選ぶ



- ①、②を繰り返して32曲まで選べます。33曲になると“FULL”と表示します。

間違えた場合

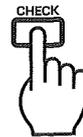
CLEARキーを押して、選び直す

3 再生する



- 選んだ順(P-番号)に再生します。
- 再生中にスキップキー(▶▶)または(◀◀)を押すと、押した方向へ飛び越します。

選曲の順番を確認するには



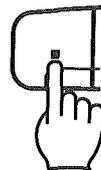
- 押すごとに選んだ順番(P-番号)と曲番を表示します。
- 数秒後に元の表示に戻ります。

曲番順の再生にするには



- 再生中の曲から曲番順の再生に戻ります。

再生を止めるには



本体



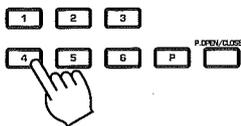
リモコン

■ 選ぶ曲を追加する

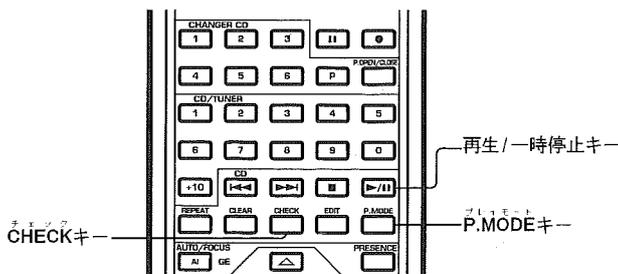
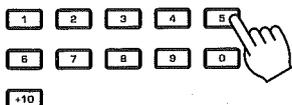
リモコンのみ

追加したい曲番を選ぶ

① ディスクを選ぶ



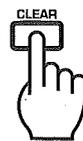
② 曲を選ぶ



■ 選んだ曲を取り消す

後ろから順に消していく

リモコンのみ

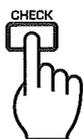


- 1回押すごとに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
- 再生中の曲は、取り消せません。

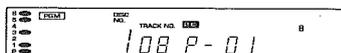
■ 選んだ曲を変更する

リモコンのみ

1 CHECK キーを押す



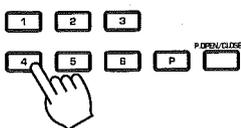
P.C 点灯



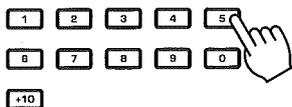
変更したい曲番号になるまで繰り返し押す

2 変更する曲番を押す

① ディスクを選ぶ



② 曲を選ぶ



P.C の点灯中に押す

- 再生している曲は変更できません。

全部消す

どちらかを押す



リモコン



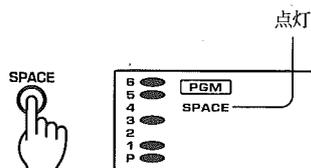
または



本体

オートスペース機能について

PROGRAM モードのとき **SPACE** キーを押すと、曲と曲の間に約4秒間の音のない部分が自動的に作られます。これはカセットデッキのDPSSのためのものですが、クラシック音楽や、ライブ音楽など、曲と曲がつながっているものでも無録音部分を作ることができます。



- 解除するときは、再度 **SPACE** キーを押します。

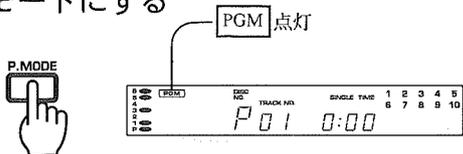
CDのききかた

準備: レシーバーの入力切換をCDにします。

■ 繰り返しきく (リピートプレイ) リモコンのみ

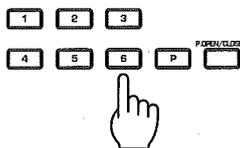
選んだ曲の繰り返し

1 PGMモードにする



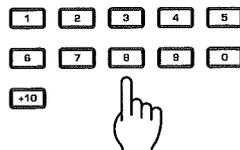
2 好きな曲を選ぶ

① ききたいディスクを選ぶ



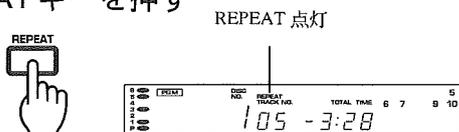
● 約8秒間の間に手順②を行わないと、そのディスクのすべての曲をプログラムします。(1-DISCプログラム)

② ききたい曲番を選ぶ



- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 一曲を選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

3 REPEATキーを押す

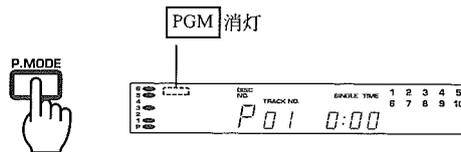


4 再生する

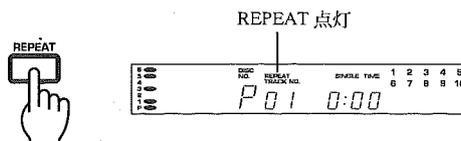


ディスク全部の繰り返し

1 PGMインジケーターを消灯させる



2 REPEATキーを押す



3 再生する



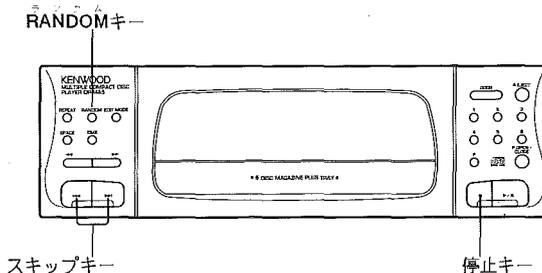
普通の再生に戻るには

REPEAT キーを再度押す



● CDプレーヤーのモードに従った再生になります。

ランダムプレイとは、毎回曲がランダム(無作為)に選択され、再生する機能です。長時間あきることのない再生が楽しめます。



■ランダム再生のしかた

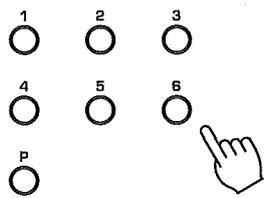
1 PGMインジケータ消灯を確認する

- PGMインジケータが点灯のときは P.MODE キーを押して PGMインジケータを消灯させます。(リモコンのみ)

2 ランダムモードを選ぶ

1枚のディスクの場合

①ディスクを選ぶ



②



RANDOM ONEを選ぶ

全てのディスクの場合



RANDOM ALLを選ぶ

押すごとに切り換わります。

→ RANDOM ONE → RANDOM ALL → RANDOM OFF

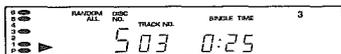
- すべてのディスクからランダムに選ばれ再生します。

最初にディスク3の7曲目が選ばれたとき

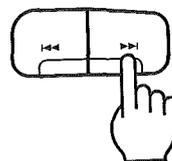


- 1曲終わると次々に曲を選び、再生していきます。

次にディスク5の3曲目が選ばれたとき



曲の途中で別の曲を選ぶには



- ◀◀を1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダムプレイを解除するには

または

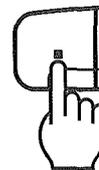
RANDOM OFFにする。



押すごとに切り変わります。

RANDOM ONE → RANDOM ALL

← RANDOM OFF ←

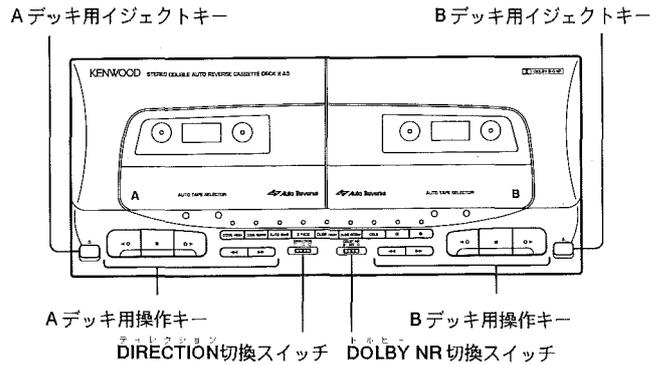


- 再生中の曲から曲番順になります。

- 再生が停止します。

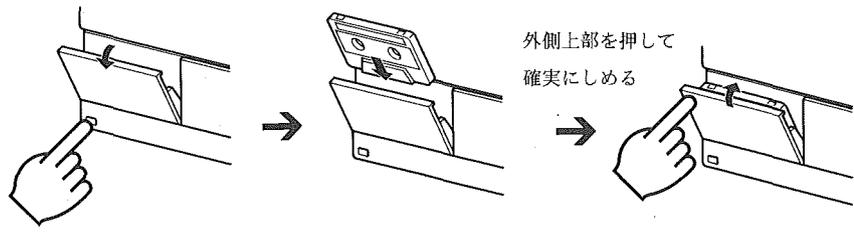
ご注意: 同じ曲が連続して再生されることはありませんが、もう一度再生されることがあります。

カセットテープのききかた



■テープの再生

1 カセットテープを入れる



- ノーマル、クローム、メタルのテープ選択は自動設定されます。
- テープはたるみのない状態に入れてください。

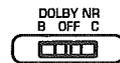
2 再生条件を決める

①再生モードの選択



エンドレス再生をする ∞
両面を再生して止まる ▷
片面のみを再生して止まる ニ

② DOLBY NR の選択



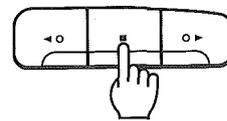
テープ
に合わせて選ぶ

3 再生する



再生を止めるには

- テープが完全に停止するまで、イジェクトキーを押さないでください。



ドルビーノイズリダクション [NR] システムについて

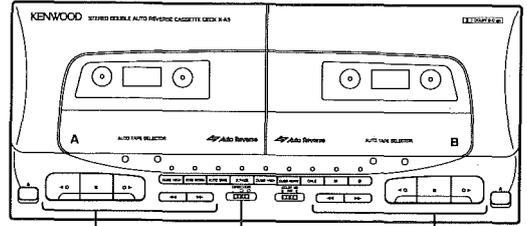
ドルビーNRシステムは、テープ再生の際に発生する“サー”というテープヒスノイズを、聴感上、極力小さくするためのシステムです。

ドルビーNRシステムは、録音時と再生時とが同じ方式を使用することで初めて効果が得られます。異なった方式で再生すると正しい音質での再生音が得られません。必ず録音時と再生時のドルビーNR方式を合わせてください。

ドルビーB NR: 一般普及型のドルビーNR方式として、一般家庭用機器でドルビーNRシステムといえばドルビーB NRを指します。

ドルビーC NR: ドルビーB NRに比べ、さらに優れたノイズ低減効果が得られます。本機だけで録音再生するときはドルビーC NRの利用をおすすめします。

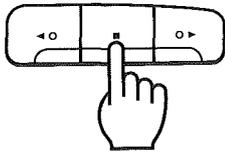
ドルビーNRシステムで録音したテープには“B”“C”の区別を明記しておきましょう。



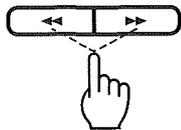
Aデッキ操作キー DIRECTION切換スイッチ Bデッキ操作キー

■早送りのしかた

1 再生を止める

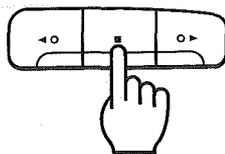


2 ◀◀キー、または▶▶キーを押す



◀◀: ◀方向に早送りする ▶▶: ▶方向に早送りする

早送りを止めるには



走行方向表示

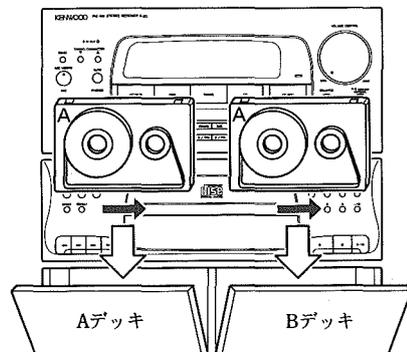
再生、または録音するテープが進む方向を再生キー ◀ ▶ のインジケータの点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が、電源を切ってもそのまま保持されます。イーザーオペレーション等で自動スタートするとき表示の方向にスタートします。走行方向を変えて止めたいときは、反対向きの再生キーを押してから止めてください。



■リレー再生のしかた

A、B 両デッキに入れたテープを交互に繰り返し再生します。

1 テープを入れる



● テープは走行方向表示と同じ向きの面を再生します。

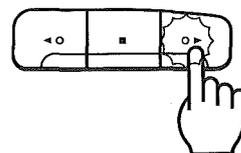
2 再生モードを選ぶ



- ☐---- A、Bデッキの両面を繰り返し再生します。
- ☐---- A、Bデッキの片面のみを繰り返し再生します。

● ☐になっているとリレー再生になりません。

3 再生する

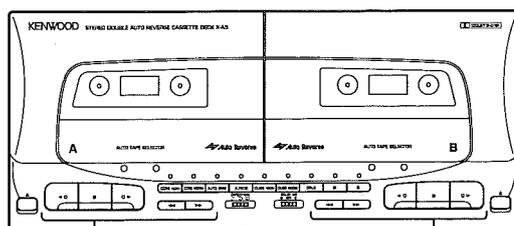
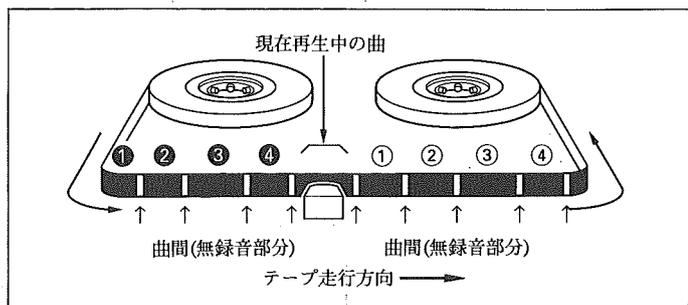


● 押したほうのデッキから再生を始めます。

DPSS の使いかた

DPSS (Direct Program Search System) 機能により、操作キーで指示を与えると、以下のような便利な使いかたができます。
(両デッキ同時にはできません) DPSS は曲と曲の間の4秒以上の無録音部分を検出して機能します。

1. 飛越選曲 : 再生中に数曲先の曲(または前の曲)を選ぶと、途中の曲を飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。最大16曲まで飛越選曲することができます。
2. 1曲リピート再生: 同じ曲を16回繰り返し再生します。
3. 巻戻し再生 : テープを巻き戻し、テープの初めから再生します。
4. ダッシュ&プレイ: テープの途中に10秒以上の無録音部分があると、その間を早送りしながら、繰り返し再生します。



Aデッキ操作キー

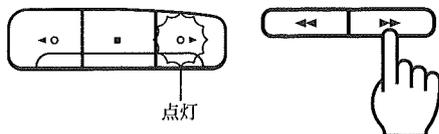
Bデッキ操作キー

飛越選曲

下の図は走行方向表示が▶のときの例です。走行方向表示の向きが◀のときは、いずれの場合も図とは反対方向のキーを押します。

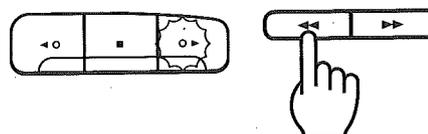
DPSSの使いかた

1曲先の曲をきくとき



再生中に1回押す

再生中の曲を初めからきくとき



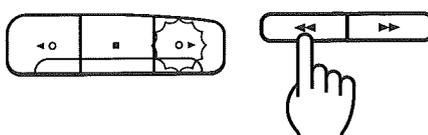
再生中に1回押す

4曲先の曲をきくとき



再生中に4回押す

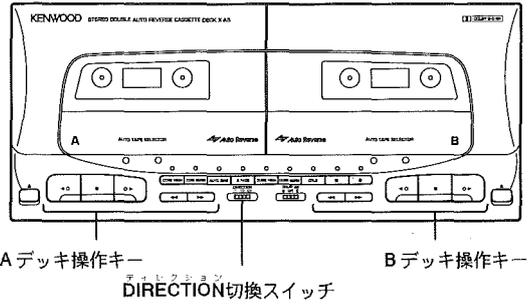
4曲前に戻してきくとき



再生中に5回押す

次のようなテープでは、DPSSは正常に動作しません

- 会話、落語などで、音声で4秒ぐらい途切れるテープ。
- クラシック音楽など、曲のなかで極端にレベルの低い部分や、無録音部分があるテープ。
- 曲間に大きな雑音などが録音されているテープ。
- 曲間が4秒未満のテープ。
- 低いレベルで録音されたテープ。
- X.FADE録音されたテープ。



■ 巻戻し再生

リモコンではできません。

走行方向表示の向き：▶

点灯

同時に押す

走行方向表示の向き：◀

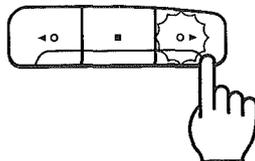
同時に押す

■ 1曲リピート再生

1 繰り返したい曲を再生する

2 同じ方向の再生キーを押す

走行方向表示の向き：▶



- 同じ曲を16回繰り返したあと、通常の再生に戻ります。

■ ダッシュ&プレイ

無録音部分を自動的に早送りして再生します。
リモコンではできません。

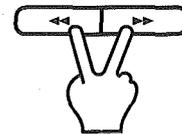
1 再生モード(条件)を決める



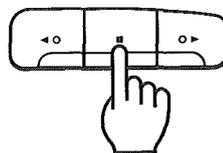
- “○”のとき……両面8回繰り返し再生して停止する。
- “□”のとき……両面1回のみ再生して停止する。
- “□□”のとき……片面のみ8回繰り返し再生して停止する。

- “□”のときテープが両方のデッキに入っているときは、片方のデッキがダッシュ&プレイを終えると、他方のデッキがダッシュ&プレイを始め、16回繰り返し再生して停止します。

2 ◀◀キーと▶▶キーを同時に押す



途中で解除するには

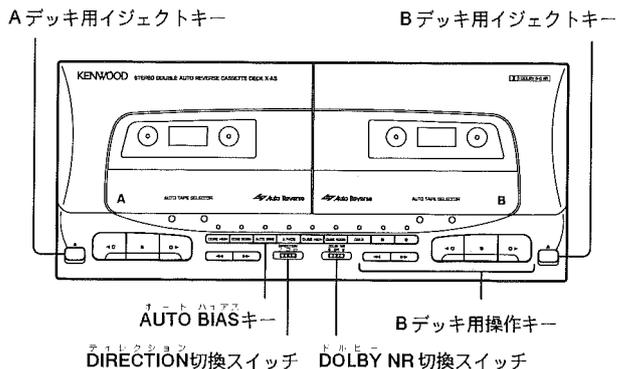


- 再生が停止します。

録音のしかた (Bデッキのみ)

■普通の録音

録音の際は、ノーマルテープ、クロームテープをお使いください。メタルテープでの録音はできません。



1 カセットデッキの準備をする

① Bデッキにテープを入れる

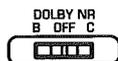
② 走行方向を合わせる

③ 録音する面を選ぶ



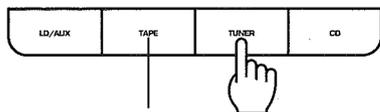
☐ : 両面録音のとき
☐ : 片面録音のとき

④ DOLBY NR を選ぶ



● マイクを使用しないときは MIC MIXING つまみを左いっぱいに戻しておいてください。

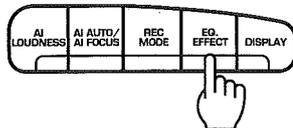
2 録音する音楽ソースを選ぶ



TAPE 以外の音楽ソースを選びます。

イコライザー効果をかけるときは

グライコ部の EQ.EFFECT キーを ON にし、パターンを選ぶ



● カーステレオ、ヘッドホンステレオ用の録音をするときは、REC MODE キーが効果的です。(25 ページ参照)

3 オートバイアスの設定をする

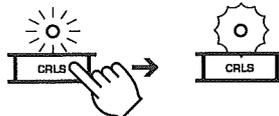


- 約 45 秒で適正バイアス値が設定され、停止します。
- バイアス調整中に解除したいときは、停止キーを押します。
- オートバイアスの設定は省略しても録音できます。

4 録音レベルを合わせる

① 音楽ソースを再生する

② CRLS キーを押す



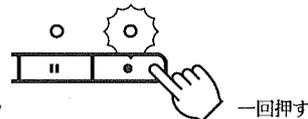
約 20 秒後、レベル合わせ完了。
点灯するまでお待ちください。

- 録音待機状態になります。
- 点滅中に録音キーを押すと、録音された音がひずむことがあります。
- 点滅中に [CRLS] キーを押すと、その時点でレベル合わせを中断し、録音待機状態になります。
- [CRLS] キーを押して約 5 秒以内にソースの音が入ってこないとき、録音レベルの設定は中断します。

5 録音を始める

① 音楽ソースを初めから再生する

② 録音キーを押す



- 録音が始まります。
- 録音する面が終了すると自動的に停止します。

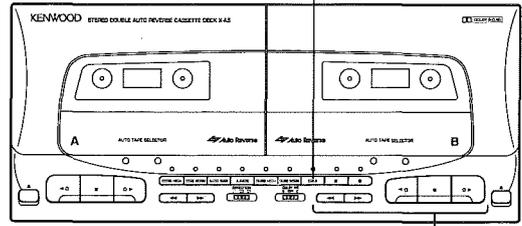
オートバイアス機能とは

ノーマルテープ、クロームテープには普及品から高級品まで幅広い種類があり、特性も一様ではありません。本機にはどんな種類のノーマルテープ、クロームテープにも適した録音をするためのオートバイアス機能があります。ノーマルテープ、クロームテープのときは、オートバイアスのご使用をおすすめします。

- オートバイアス調整中は、A デッキの [▶▶] キー、[◀◀] キー、[■] キー、B デッキの [■] キー以外は動きません。
- テープの残量が少ないときは、オートバイアスの調整が途中で解除され、停止することがあります。
- オートバイアスは B デッキのイジェクトキーを押すと解除されます。

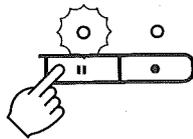
録音のしかた

CRLS キー



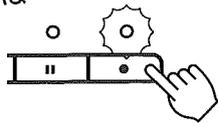
Bデッキ操作キー

■録音を一時停止する



- インジケーターが点灯します。

録音を再開するには



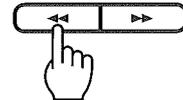
■録音をとり直しする

曲の途中で録音をとり直すときに便利です。

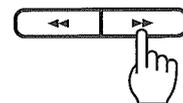
録音開始位置の前に約4秒間の無録音部分が必要です。

1 録音を中止し、巻き戻す

▶方向録音中は



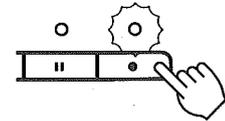
◀方向録音中は



- 録音は中止され、録音中の曲の最初まで戻り、前の曲から約2秒間の無録音部分を送った後、停止します。

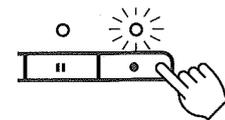
2 録音を開始する

①録音キーを2回押す



- 約4秒間の無録音部分を作って止まります。

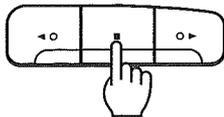
②録音キーを1回押す



- 録音が始まります。

■録音を止める

1



2 音楽ソースを止める

CRLS キーについて

コンピュータコントロールドレコーディングレベルシステム
Computer controlled Recording Level System:

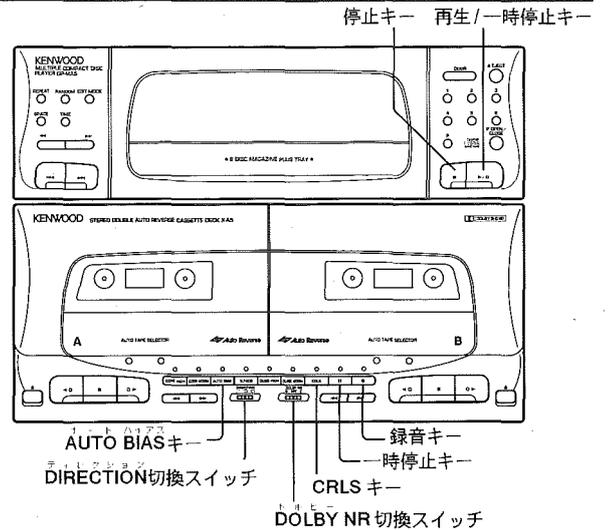
音楽ソースのレベルを約20秒間サンプリングし、自動的に適切な録音レベルを決める機能です。

- **CRLS** キーを押し忘れても..... 基本録音レベルで録音できます。
各入力切換キー共通の基本録音レベルが出荷時に決めてあります。
- 一度決めた録音レベルは記憶している..... 入力切換キー (LD/AUX, TUNER, CD) ごとに **CRLS** キーで決めた録音レベルが記憶され、2度目からは **CRLS** キーを押しなくても同じレベルで録音できます。
- **CRLS** キーを押してしまったけれど、前のレベルに戻したいとき..... CRLSインジケーターが点滅している間に停止キーを押します。前の状態に戻ります。
- **CRLS** キーを3秒以上押し続けると..... インジケーターが遅い点滅をしたあと消えます。このときに点灯していた入力切換に記憶していたレベルは基本録音レベルに戻ります。

録音のしかた

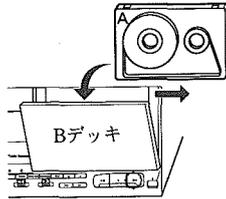
■ CDのシンクロ録音

カセットデッキとCDプレーヤーを同時にスタートさせることができます。



1 録音の準備をする

①Bデッキにテープを入れる



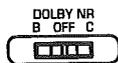
②走行方向を合わせる

③録音する面を選ぶ



コ: 両面録音のとき
ニ: 片面録音のとき

④DOLBY NRを選ぶ



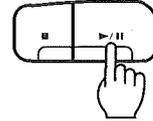
2 オートバイアスを設定する



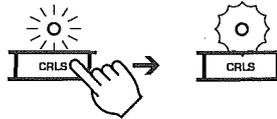
● 約45秒で設定終了します。

3 録音レベルを合わせる

①CDを再生する



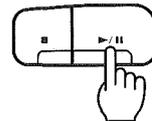
- ききたいディスクを選びます。
- ②CRLSキーを押す



約20秒後、レベル合わせ完了。
点灯するまでお待ちください。

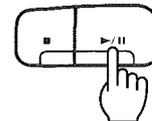
- 録音待機状態になります。

③CDを一時停止させる



4 CDを再生する

- ①録音を始めた曲番の数字キーを押す(リモコンのみ)
- ②再生する



- 同時に録音が始まります。
- CDプレーヤーの再生が終わると、デッキは録音を終了し停止します。

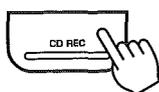
一時停止CDプレーヤーの▶/||キーを押す
録音再開始CDプレーヤーの▶/||キーを押す
停止CDプレーヤーの■キーを押す

- カセットデッキの停止キーを押すと、カセットデッキは止まりますが、CDプレーヤーは止まりません。

■ CD REC キーの使いかた

CDを録音しながら、他の音楽ソースがきけます。

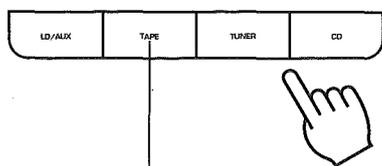
1 レシーバーの CD REC キーを押す



2 CDを録音する

“CDのシンクロ録音” “CDの録音のしかた (CCRS)” を参照して録音します

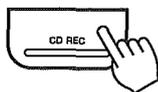
3 好きな音楽ソースを選ぶ



TAPE以外の音楽ソースを選びます。

CD REC を解除するには

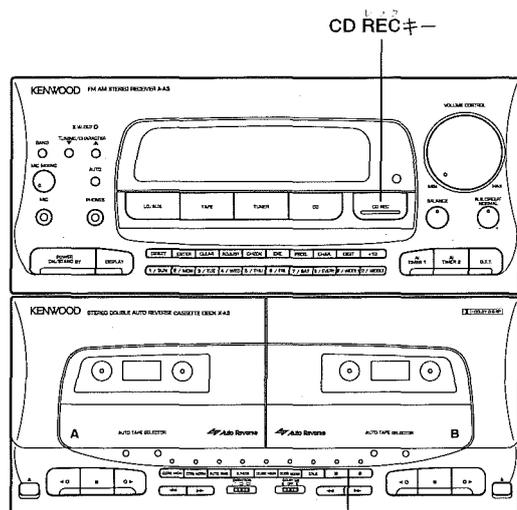
もう1度押す



- 録音インジケーターが点灯中または点滅中は、受けつけません。

ご注意:

1. CD REC キーがONのときは、CDの録音にはイコライザー効果はかけられません。
2. CD REC 終了後は、必ずCD REC キーを押してCD REC をOFFにしてください。



CD RECキー

録音インジケーター

CDの録音のしかた (CCRS)

録音するディスクの最適録音レベルと録音するテープの録音バイアスを自動的に設定し、録音を開始する CCRS 機能と組み合わせ、次のような便利な録音ができます。(録音は B デッキのみ可能です)

- TRACKモードでの録音 (トラック録音) : CDの1曲目から順に録音し、曲の途中でテープの折返し部になったとき、フェードアウト/フェードインで折返して録音します。
- PGMモードでの録音 (プログラム録音) : プログラムされた順番で録音し、曲の途中でテープの折返し部になったとき、中途半端になった曲を消去し、その曲からあらためて裏面に録音します。(複数のディスクにまたがってプログラムできません。) 複数のディスクにまたがってプログラム録音する場合は、マルチディスク編集録音をご利用ください。
- ノーマル編集録音 (NORMAL EDIT) : 録音時間を指定すると、テープエンドの曲がとぎれないように自動的に編集録音をします。
- AI編集録音 (AI EDIT) : 1つのテープのなかに、完全に時間がオーバーするCDの全曲を、1曲ごとにフェードアウトして全曲録音します。
- マルチディスク編集録音 (MULTI EDIT) : 1つのテープに複数のCDで編集録音することができます。
- X. FADE録音 : 曲の終わりと初めをフェードアウト/フェードインし、曲の切れ目のない音楽テープが作れます。
- CCRS倍速録音 : CDを2倍の速さで録音します。

“CDのききかた”の項目をあわせてご覧ください。

CCRS (Computer Controlled CD Recording System) とは

CCRS キーを押すだけで、次のことを自動的にを行い、CD録音を始める機能です。

1. CD プレーヤーが再生を開始し、ディスクの収録レベルから、ピーク値をサンプリングします。
 2. サンプリングしたピーク値から、そのディスクの最適録音レベルを決め、設定します。
 3. カセットデッキが録音するテープのバイアスを自動的に設定します。
 4. 約 90 秒で以上の録音準備を終え、録音を始めます。
 5. 録音が終了 (CD プレーヤーが停止したとき、またはテープが終わったとき) すると、デッキと CD プレーヤーは停止します。
- CCRS、AUTO BIAS インジケータの点灯中は、設定した録音レベル、オートバイアスレベルが維持されています。
 - CCRS 録音レベルは、CD プレーヤーの開閉キーを押したときに、オートバイアスレベルは B デッキのイジェクトキーを押したときに、また電源を切ったときは両方共に解除されます。

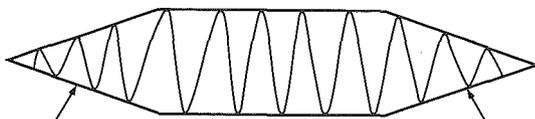
CCRS 作動中のカセットデッキ部の表示

インジケータ	点灯 ○ 点滅  消灯 ●			
	CCRS ^{*1}	AUTO BIAS ^{*2}	一時停止	録音
録音レベル設定中	 早い点滅	●	○	○
オートバイアス設定中			●	○
			●	●
録音中	 遅い点滅	○	●	○
録音停止	●	○	●	●

- *1. CCRS 設定の解除 : CD プレーヤーの開閉キーを押す。
- *2. A. BIAS 設定の解除 : カセットデッキのイジェクトキーを押す。
- *3. 録音する曲数によって設定時間が異なります。

フェードイン/フェードアウトとは

音楽を再生するとき、小音量から始めて通常の音量までだんだん大きくしていくことをフェードインといい、逆に通常の音量からだんだん小さくしていった終わることをフェードアウトといいます。



フェードイン

フェードアウト

CCRS 倍速録音について

CD とカセットデッキを通常の倍のスピードで回転させて録音します。録音時間が約半分に短縮できます。このとき、倍の音程とスピードで再生されているため、スピーカーで録音をモニターしても音楽として楽しむことはできません。

CCRS 倍速録音したテープは DOLBY NR OFF で録音されますので、再生するときは DOLBY NR OFF で再生してください。

CCRS 倍速録音をする場合は、イコライザー効果を解除してください。(28 ページ参照)

■PGMモード以外での録音

テープの折り返し部で、フェードアウト/フェードインします。

1 入力切換をCDにし、ディスクを入れる

2 “普通の録音”手順2まで済ませる

- 44ページをごらんください。

3 PGMモードでないことを確認する

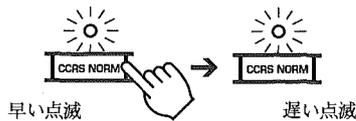
- **PGM** が点灯しているときは **P. MODE** キーを押します。
(リモコンのみ)

ディスクセクターキーを押して録音するディスクを選ぶ

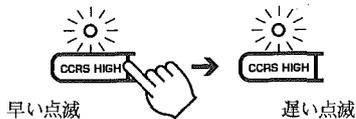
- 再生音を確認します。

4 録音する

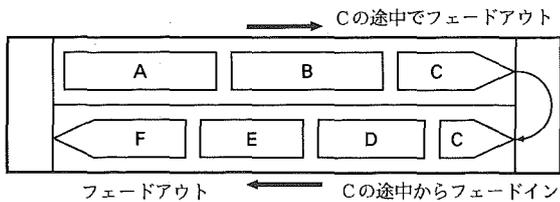
普通の録音のとき



倍速録音のとき



- CCRS機能により、約90秒後、録音が始まります。
- ディスクの曲番順に録音されます。
- テープの折り返し部では、図のようになります。



■PGMモードでの録音

テープの折り返し部で、曲がとぎれないように録音します。

1 入力切換をCDにし、ディスクを入れる

2 “普通の録音”手順2まで済ませる

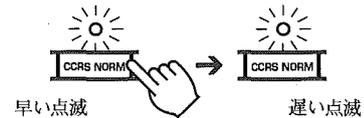
- 44ページをごらんください。

3 PGMモードで録音する曲の順番を選ぶ

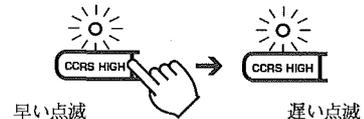
- 36ページをごらんください。(複数のディスクにまたがってプログラムはできません。)
- 複数のディスクにまたがってプログラム録音する場合は、52ページのマルチディスク編集録音をご利用ください。

4 録音する

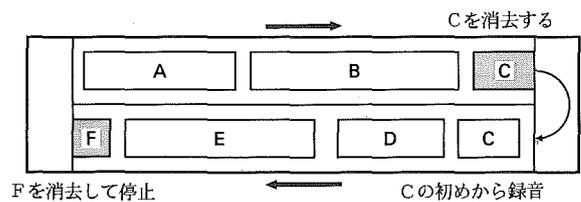
普通の録音のとき



倍速録音のとき



- CCRS機能により、約90秒後、録音が始まります。
- 選んだ曲の順に録音されます。
- テープの折り返し部では、図のようになります。

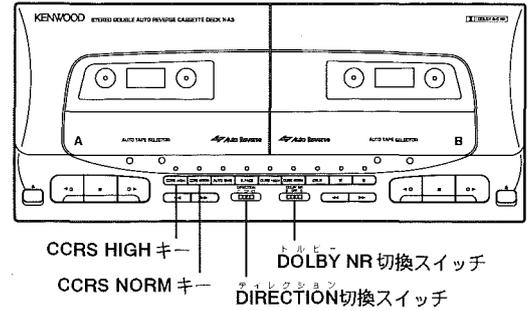


ご注意:

1. CDプレーヤーの再生中に **CCRS** キーを押すと、再生を中止し、CCRS設定に入ります。
2. CCRS録音では録音レベルを合わせる必要はありません。
3. CCRSはディスクのピークレベルを約90秒で探すため、ごくまれに最適レベルの調節ができないことがあります。
4. クラシックなど、1曲が長いものは、テープの片面に録音しきれないためCCRSが使えません。
5. カセットデッキのDIRECTIONスイッチが **ニ** になっていると、それぞれのテープエンドの処理はおもて面のみになります。
6. テープエンドにかかった曲がフェードアウトされるとき、前の曲との間が短いと前の曲の最後も一部消去されることがあります。

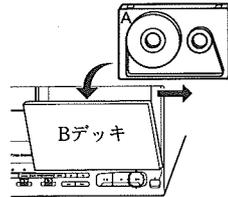
■ ノーマル編集録音 (NORMAL EDIT)

録音時間を指定すると、テープエンドの曲がとぎれないように自動的に編集します。



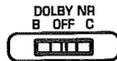
1 Bデッキの録音準備をする

- ①カセットを入れる
- ②走行方向を確認する
- ③録音する面を選ぶ



コ: 両面録音を選ぶ

- ④ DOLBY NR を選ぶ



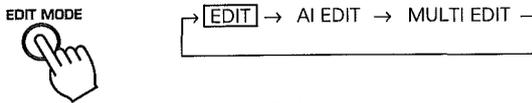
イコライザー効果をかけるときは
グライコ部のEQ.EFFECTキーをONにし、パターンを選ぶ

2 入力切換をCDにする

3 CDプレーヤーにディスクを入れる

- ドアを閉めておきます。
- PGMインジケータ消灯を確認します。1曲でもプログラムされているとエディットは、働きません。

4 CDのEDITモードをEDITにする



押すたびに切り換わります。

- EDITを選んだあと、8秒以内に次の手順の入力をしてください。8秒過ぎたときはもう一度押してください。

5 ディスクセクターキーを押して録音するディスクを選ぶ

6 テープの時間を入力する

CDプレーヤーの数字キーで入力する

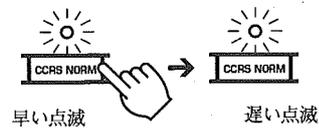
C-30のとき: [+10] [+10] [+10] [0]

C-46のとき: [+10] [+10] [+10] [+10] [6]

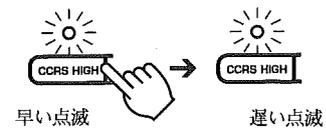
- TIMEキーを押すごとに46、54、60、90を選ぶことができます。このときはEDIT MODEキーを再度押します。
- A面B面の自動編集が行われ、編集が終了するとEDITが点滅から点灯になります。

7 CCRSキーを押す

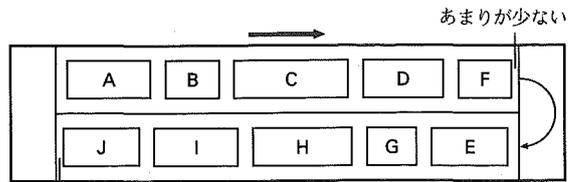
普通の録音のとき



倍速録音のとき



下図のように録音されます



あまりが少ない 曲番号順を基本に時間調整した曲に入れ換える

- 録音が終了すると自動的に停止します。

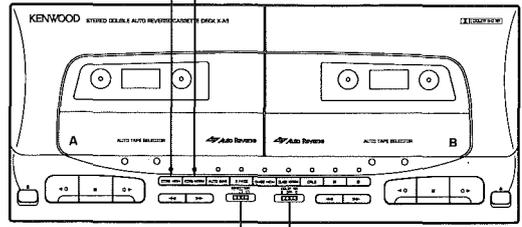
ご注意:

1. 1曲でもプログラムされていると、編集はできません。
2. REPEATキー機能は働きません。

■ AI 編集録音 (AI EDIT)

録音したいCDの時間に比べテープの時間が短いとき、録音する曲の最後の部分をフェードアウトでカット編集し、全曲を録音します。

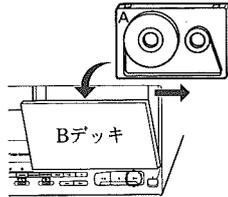
CCRS HIGH キー CCRS NORM キー



DIRECTION 切換スイッチ DOLBY NR 切換スイッチ

1 Bデッキの録音準備をする

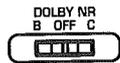
- ①カセットを入れる
- ②走行方向を確認する
- ③録音する面を選ぶ



☐ : 両面録音を選ぶ



- ④ DOLBY NR を選ぶ



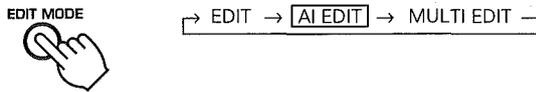
イコライザー効果をかけるときは
グライコ部のEQ.EFFECTキーをONにし、パターンを選ぶ

2 入力切替をCDにする

3 CDプレーヤーにディスクを入れる

- ドアを閉めPGMインジケータを消灯させます。

4 CDのEDITモードをAI EDITにする



- AI EDITを選んだあと、8秒以内に次の手順の入力をしてください。8秒過ぎたときはもう一度押してください。

5 ディスクセクターキーを押して録音するディスクを選ぶ

6 テープの時間を入力する

CDプレーヤーの数字キーで入力する

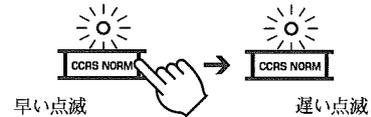
C-30のとき: [+10] [+10] [+10] [0]

C-46のとき: [+10] [+10] [+10] [+10] [6]

- TIMEキーを押すごとに46、54、60、90を選ぶことができます。このときはEDIT MODEキーを再度押します。
- A面B面の自動編集が行われ、編集が終了するとAI EDITが点滅から点灯になります。

7 CCRS キーを押す

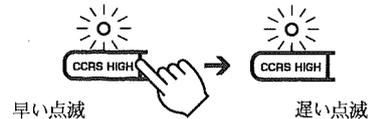
普通の録音のとき



早い点滅

遅い点滅

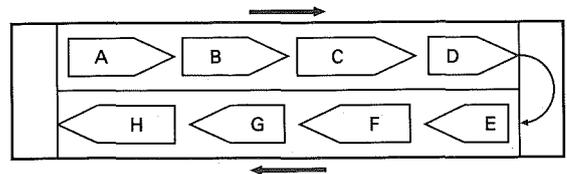
倍速録音のとき



早い点滅

遅い点滅

下図のように録音されます



- テープの時間に余裕があるときは全曲最後まで録音されます。
- 録音が終了すると自動的に停止します。

ご注意:

1. テープの時間を極端に短くすると、自動編集されないときがあります。
2. SPACEキー、REPEATキー機能は働きません。
3. 1曲でもプログラムされていると、編集できません。
4. X.FADE録音はできません。

CDの録音のしかた (CCRS)

■ マルチディスク編集録音 (MULTI EDIT)

一つのテープに複数のCDから(一枚につき20曲まで)編集録音ができます。
あらかじめ編集したいディスクをマガジンおよびプラス1トレイに入れておきます。

1 Bデッキの録音準備をする

- ①カセットを入れる
- ②走行方向を確認する
- ③録音する面を選ぶ ☐: 両面録音を選ぶ
- ④DOLBY NR を選ぶ

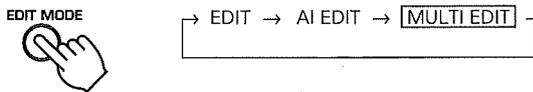
イコライザー効果をかけるときは
グライコ部のEQ.EFFECTキーをONにし、パターンを選ぶ

2 入力切換をCDにする

3 CDプレーヤーにディスクを入れる

- ドアを閉め、PGMインジケーターを消灯させます。

4 CDのEDITモードをMULTI EDITにする



押すたびに切り換わります。

- MULTI EDITを選んだあと、8秒以内に次の手順の入力をしてください。8秒過ぎたときはもう一度押してください。

5 テープの時間を入力する

CDプレーヤーの数字キーで入力する

C-30のとき: ☐+10 ☐+10 ☐+10 ☐0

C-46のとき: ☐+10 ☐+10 ☐+10 ☐+10 ☐6

- TIMEキーを押すごとに46、54、60、90を選ぶことができます。このときはEDIT MODEキーを再度押します。
- MULTI EDITが点滅から点灯に変わり、プログラム入力待ちになり、A面の録音可能時間が表示されます。

6 ディスクセレクトキーを押して録音するディスクを選ぶ

- ディスクを間違えた場合は、再生トラック番号が点滅している間に☐キーを押します。

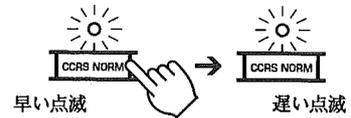
7 録音したい曲を選ぶ

CDプレーヤーの数字キー(リモコンのみ)で、
録音したい曲順に曲番号を入力する

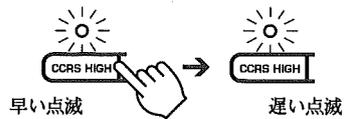
- TOTAL TIME表示にはA面、またはB面の残り時間が表示されます。
- ディスプレイに“FULL”と表示されたとき、それ以上のプログラムは入力できません。

8 CCRS キーを押す

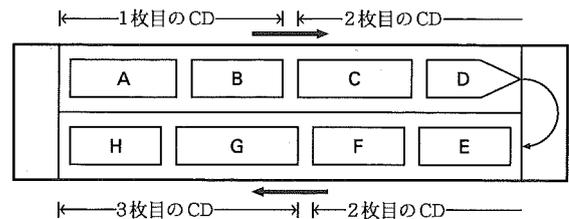
普通の録音のとき



倍速録音のとき



下図のように録音されます(三枚のCDを録音した例)

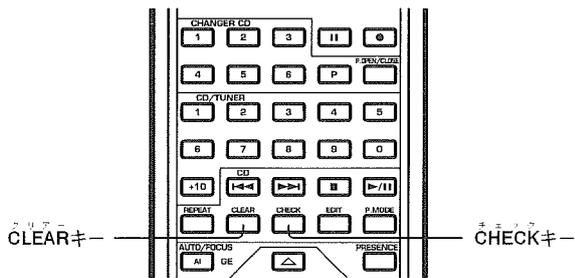


- 一枚目の録音が終了するとCDプレーヤー、カセットデッキ共に停止します。

手順6~8を繰り返します。

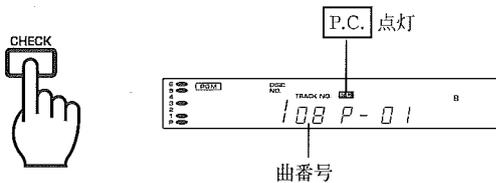
ご注意:

1. 手順7で、テープの残り時間以上の曲を入力するとCDプレーヤーの表示部がFAdeとなり、時間がオーバーする部分がフェードアウトでカットされます。ディスプレイに表示されている残り時間を参考にして入力してください。
2. 曲番号21以後は入力できません。
3. SPACEキー、REPEATキー機能は働きません。
4. 録音中にP.OPEN/CLOSEキー、マガジンイジェクトキーを押さないでください。



■編集した内容を確認する

リモコンのみ



- 押すごとに編集した曲番号が順に表示されます。
- MULTI EDIT のときはセットしてあるディスクのみです。

■編集した内容を取り消す

編集した最後の曲から順に取り消すには
(MULTI EDIT のみ) リモコンのみ



- 押すごとに最後の曲から順に消えます。
- 現在選ばれているディスクのみです。

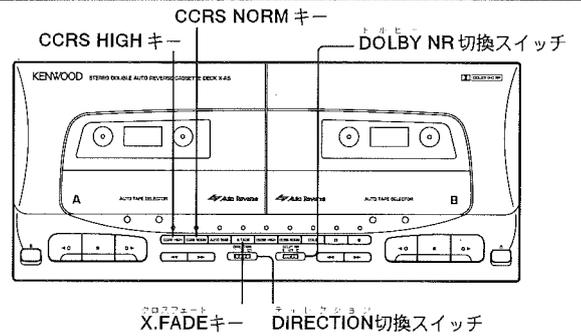
編集内容全部を一度に消すには

どちらかのキーを押す



または

- MULTI EDIT のときは現在選ばれているディスクのみです。プラス1トレイのディスクを選んでいるときは、P.OPEN/CLOSE キーを押します。



■クロスフェード X.FADE 録音のしかた

倍速ではできません

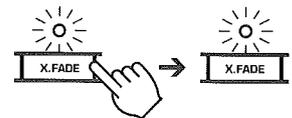
1 入力切換を CD にし、ディスクを入れる

- 通常再生の場合は、ディスクセクターキーで録音するディスクを選び再生音を確認します。

2 “普通の録音”手順2まで済ませる

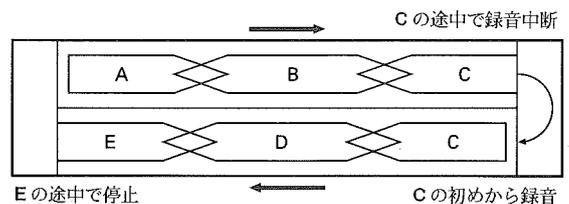
- 44 ページをごらんください。

3 録音する

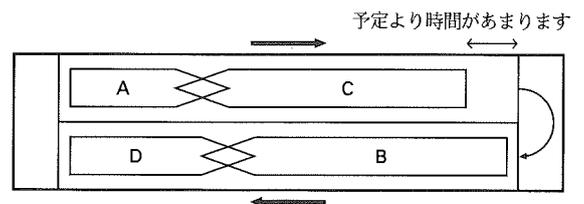


- CCRS 機能により、約 90 秒後、録音が始まります。
- CD プレーヤーのモードに従った録音になります。

TRACK または PGM モードのとき



先に編集(NORMAL EDIT、MULTI EDIT)したとき



ご注意:

もともとフェードアウト/フェードインされた曲を X.FADE 録音すると曲間が空いてしまうことがあります。

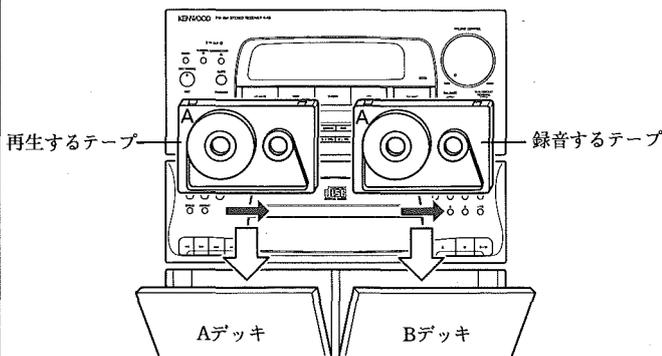
ダビングのしかた

録音済みのテープを別のテープへコピーすることをダビングといいます。(Aデッキのテープ→Bデッキのテープ)

ノーマルダビング：通常で速度でコピーします。

高速ダビング：通常約2倍の速度でコピーします。

1 テープを入れる



2 テープの走行方向を合わせる

47ページをお読みください。



3 片面、両面を選ぶ



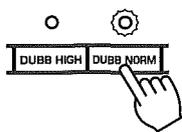
○：両面ダビングのとき
 □：片面ダビングのとき

4 AUTO BIAS キーを押す

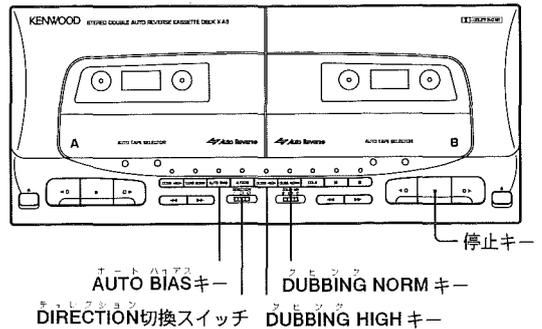
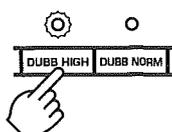
●約45秒で適正バイアス値が設定され、停止します。

5 ダビングを始める

ノーマルダビングのとき

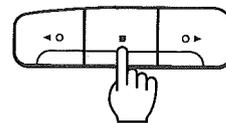


高速ダビングのとき



ダビングを停止するには

Bデッキの停止キーを押す



●A、Bデッキとも停止状態になります。

ダビングを一時停止するには

ノーマルダビングのとき：NORMキーを押す

高速ダビングのとき：HIGHキーを押す

- ノーマルでは約4秒間、高速では約6秒間の無録音部分を作った後、Bデッキのみ一時停止状態になります。
- ダビング中に、ダビングしたくない曲を飛ばしたいときは、Aデッキの [FF] キーを押します。
- ダビングを再開するときは、押した DUBBING キー ([NORM] または [HIGH]) を、もう一度押します。

ご注意：

1. ダビング時は、録音レベルの調節ができません。
2. ダビング時は、[DOLBY NR] スイッチは機能しません。ダビングしたテープはAデッキと同じノイズリダクションで作られます。
3. TVのそばで高速ダビングをすると、TV雑音が入ることがあります。TVから離してください。
4. 録音レベルが高いテープを高速ダビングすると、音質を損なうことがあります。このようなときは、ノーマルでダビングしてください。

簡単にカラオケを楽しむには

ヒットマスター
HIT MASTER: CD等のボーカルだけを小さくして、カラオケとして楽しむことができます。最新ディスクの曲を練習したいときに便利です。

■マイクをつなぐ

1 MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻す



2 MIC端子にプラグを差し込む



3 マイクとソースの音量のバランスを調節する



■カラオケをする

1 音楽ソースを再生する

2 HIT MASTER キーを押す



- 音楽ソースからボーカルだけが小さくなります。ただし、ソースによっては効果があまり得られないことがあります。

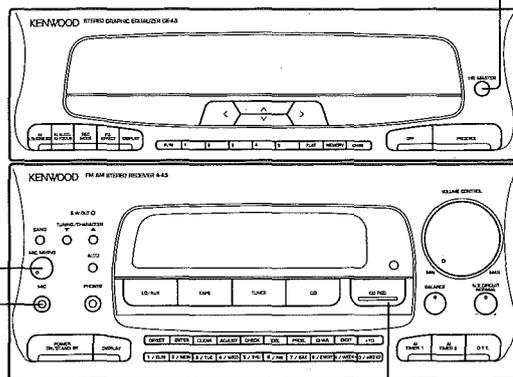
3 曲に合わせて歌う

- 全体の音量は VOLUME CONTROLつまみで調節してください。

ご注意:

1. マイクを使用しないときは MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻しておいてください。
2. テープの再生音とミキシングした音は録音できません。

HIT MASTERキー



MIC MIXINGつまみ

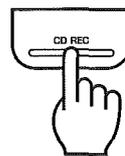
MIC端子

CD RECキー

■カラオケを録音する

1 マイクをつなぐ

2 CD RECがOFFであることを確認する



3 HIT MASTER キーを押す



4 “普通の録音”の手順4まで済ませる

- 44ページをごらんください。

5 録音を始める

- ① 音楽ソースを再生する
 - ② 録音キーを押す
 - ③ 曲に合わせて歌う
- MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻して録音すると、カラオケテープを作ることができます。

6 録音を止める

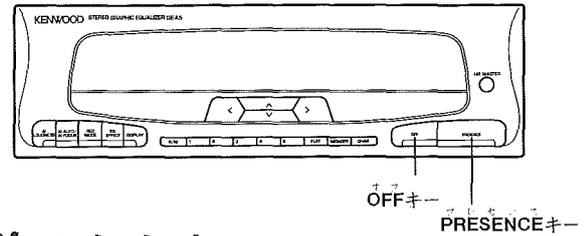
プレゼンスについて

プレゼンス (臨場感) について

コンサートや劇場などのつつみこまれるような臨場感を再現できます。

AI-LINK イコライザー効果

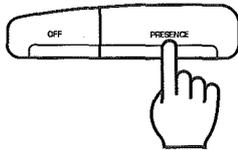
5種類のプレゼンス音場にあったイコライザーカーブが自動的に作られ、プレゼンス効果が強調されます。



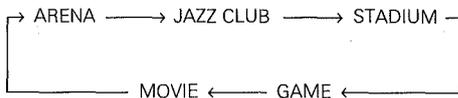
■ プレゼンス再生のしかた

1 音楽を再生する

2 プレゼンス音場を選ぶ

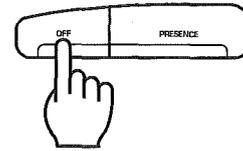


PRESENCE キーを押すごとに、モードが順に切り換わります。



3 音量を調節する

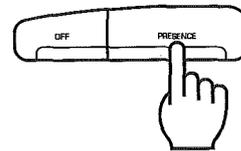
■ 解除のしかた



● プレゼンス再生をしないときは、必ずOFFにしてください。

■ 録音のしかた

1 プレゼンス音場を選ぶ



PRESENCE キーを押すごとに、モードが順に切り換わります。

2 音楽を再生し、録音する

● CRLS、CCRS を用いて録音レベルを設定してください。

プレゼンスについて

プレゼンスモードの種類と効果	
ARENA	高域の反射が多く残響時間の長いホール効果を再現します。
JAZZ CLUB	シンバルの響きわたるジャズライブハウスを再現します。
STADIUM	スタジアム特有の場内反射音をPAスピーカーの音に横して雰囲気盛り上げます。
GAME	ゲームソフトの持っている効果音をさらに高め、臨場感や迫力のある音を再現します。
MOVIE	映画特有の効果音をよりリアルに再現します。

タイマーの使いかた

必ず時刻合わせを終わらせてからタイマー設定してください

本システムのタイマーには、次のような機能があります。

プログラムタイマー : ON時刻に電源が入り、放送の受信や録音をしたり、テープ・CDの再生をしたあと、OFF時刻で電源が切れます。時刻設定のできるプログラムは最大6つです。このプログラムタイマーに、AI TIMERの機能をつけ加えることができます。

AI TIMER 1 : タイマーONで電源が入ったあと、目覚し効果として音量が3段階に大きくなります。

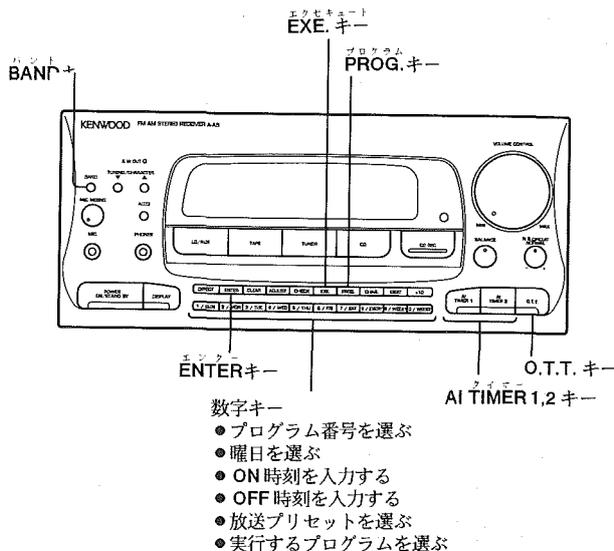
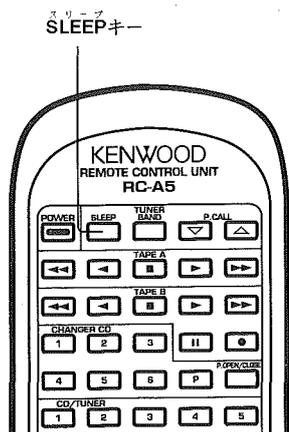
AI TIMER 2 : タイマーONで電源が入ったら、CDを2曲再生し、そのあと自動的に放送を受信します。

スリープタイマー : おやすみのときなど、設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

ワンタッチタイマー : 12時間以内の区切りのよい時間に自動的に電源をONさせます。AI TIMERの機能をつけ加えることができます。

カレンダーチェック : 年、月、日を入力するとその日が何曜日かをインジケーターで表示します。

- タイマーの設定のしかたについては次ページ以降をお読みください。
- プログラムの内容は自由に変更できます。
- プログラムが入力されていても、実行を指示しないとタイマーは作動しません。
- AI TIMERは不要な時には、OFFにしてください。その日に実行する全部のプログラムに付加されます。
- 一度入力したプログラム内容は一度に消すことはできません。内容を変更することにより、以前の内容を消します。
- プログラムはそれぞれの時間が重ならないようにしてください。



数字キーで指定する曜日の種類

1. 実行指示をするとその曜日に一度だけ実行する。

曜日	数字キー
日曜日	1 / SUN
月曜日	2 / MON
火曜日	3 / TUE
水曜日	4 / WED
木曜日	5 / THU
金曜日	6 / FRI
土曜日	7 / SAT

- 次の週も同じ時間にタイマーを作動させたいときは、あらためて実行を指示します。

2. 実行指示をすると毎週繰り返し実行する。

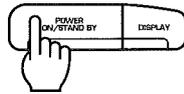
曜日	数字キー
月曜日～日曜日の毎日	8 / EVERY
月曜日～土曜日の毎日	9 / WEEK1
月曜日～金曜日の毎日	0 / WEEK2

- タイマーを作動させないときはプログラムの実行を取り消します。

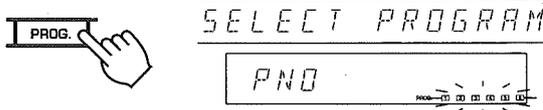
■プログラムタイマーで放送を受信する

1 電源をONにする

レシーバー部の **POWER** キーを押す

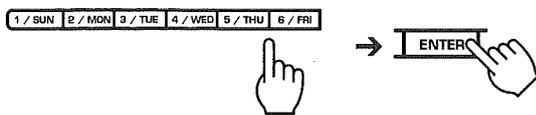


2 プログラム設定モードにする



●プログラム番号(1-6)が点滅します。

3 プログラムしたい番号を選ぶ



1-6の中から選ぶ

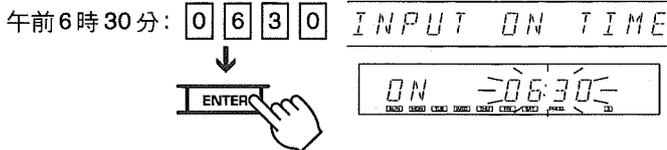
8秒以内に押す

●選んだプログラム番号が点滅します。

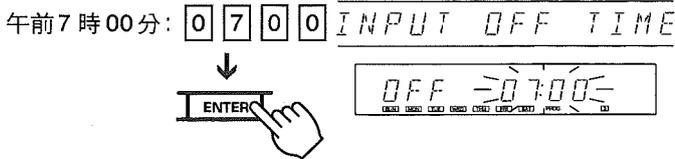
4 曜日を数字キーで指定する



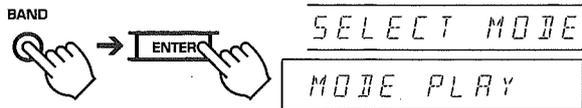
5 ON時刻を数字キーで入力する



6 OFF時刻を数字キーで入力する

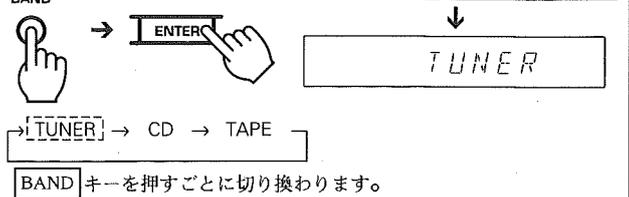


7 モードをPLAYにする



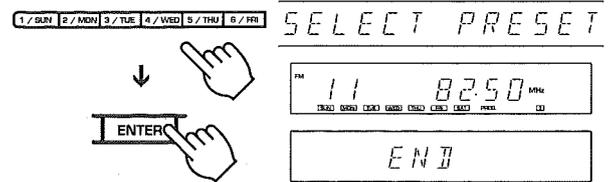
BAND キーを押すごとにPLAYとRECに切り換わります。

8 TUNERを選ぶ



BAND キーを押すごとに切り換わります。

9 受信する放送局のプリセットチャンネルを選ぶ

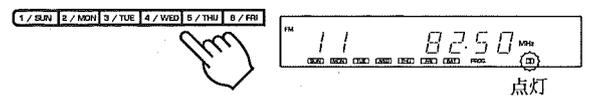


●放送局は必ずプリセットしておいてください。

10 プログラムを実行する



②設定したプログラム番号を数字キーで選ぶ

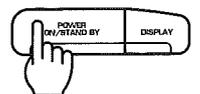


●指定したプログラム番号が点灯します。

11 音量・音質を調整する

12 電源を切る

レシーバー部の **POWER** キーを押す



タイマーで電源がONになったあと、そのまま放送を受信したいとき

- ①OFF時刻になる前に **CLEAR** キーを押す
- ②実行中のプログラム番号キーを押す
- プログラム数字が消灯すると、そのまま放送を受信できます。

プログラムを変更するには



設定後

手順2からやり直す

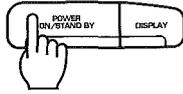
ご注意:

1. 手順3で、すでにプログラムされているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
2. タイマーで電源がONしているときに、**CLEAR** キーや、**POWER** キーを押すと、正常に作動しなくなります。

■プログラムタイマーでCDを再生する

1 電源をONにする

レシーバー部の **POWER** キーを押す



2 プログラム設定モードにする



SELECT PROGRAM

PNO

●プログラム番号(1-6)が点滅します。

3 プログラムしたい番号を選ぶ

1 / SUN 2 / MON 3 / TUE 4 / WED 5 / THU 6 / FRI



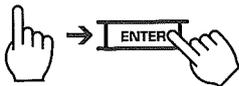
1-6の中から選ぶ

8秒以内に押す

●選んだプログラム番号が点滅します。

4 曜日を数字キーで指定する

6 / FRI 7 / SAT 8 / EVERY 9 / WEEK 0 / WEEK2

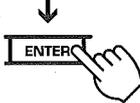


SELECT DAY



5 ON時刻を数字キーで入力する

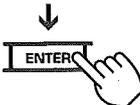
午前6時30分: 0 6 3 0 INPUT ON TIME



ON 06:30

6 OFF時刻を数字キーで入力する

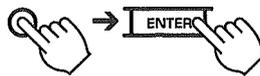
午前7時00分: 0 7 0 0 INPUT OFF TIME



OFF 07:00

7 モードをPLAYにする

BAND



SELECT MODE

MODE PLAY

BAND キーを押すごとにPLAYとRECに切り換わります。

8 CDを選ぶ

BAND



SELECT SOURCE

CD

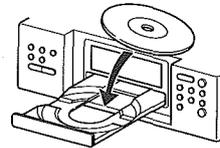
END

→ TUNER → [CD] → TAPE

BAND キーを押すごとに切り換わります。

9 CDプレーヤーにディスクを入れる

プラス1トレイにディスクを入れてドアを閉める



●曲をプログラムしておくことはできません。

10 プログラムを実行する

①



SELECT PROGRAM

②設定したプログラム番号を数字キーで選ぶ

1 / SUN 2 / MON 3 / TUE 4 / WED 5 / THU 6 / FRI



11 82.50 MHz

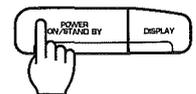
点灯

●指定したプログラム番号が点灯します。

11 音量・音質を調整する

12 電源を切る

レシーバー部の **POWER** キーを押す



ご注意:

- 手順3で、すでにプログラムされているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
- タイマーで電源がONしているときに、**CLEAR** キーや、**POWER** キーを押すと、正常に作動しなくなります。

プログラムの変更するには

設定中



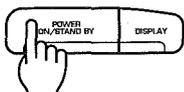
設定後

手順2からやり直す

■プログラムタイマーでテープを再生する

1 電源をONにする

レシーバー部の **POWER** キーを押す

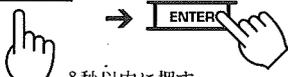
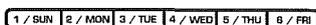


2 プログラム設定モードにする



●プログラム番号(1~6)が点滅します。

3 プログラムしたい番号を選ぶ

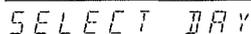
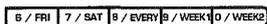


1~6の中から選ぶ

8秒以内に押す

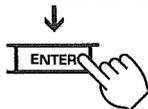
●選んだプログラム番号が点滅します。

4 曜日を数字キーで指定する



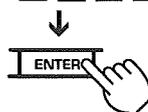
5 ON時刻を数字キーで入力する

午前6時30分: 0 6 3 0 INPUT ON TIME

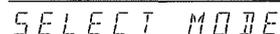
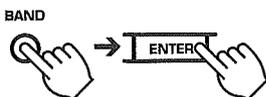


6 OFF時刻を数字キーで入力する

午前7時00分: 0 7 0 0 INPUT OFF TIME



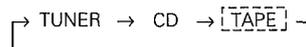
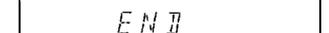
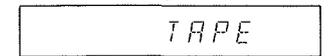
7 モードをPLAYにする



BAND キーを押すごとにPLAYとRECに切り換わります。

8 TAPEを選ぶ

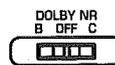
BAND



BAND キーを押すごとに切り換わります。

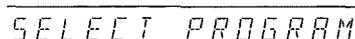
9 テープを入れ、再生条件を決める

再生する面とDOLBY NRを選ぶ

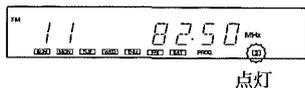


●A、Bどちらに入れても再生できますが、両方に入れた場合はBデッキから始まります。

10 プログラムを実行する



②設定したプログラム番号を数字キーで選ぶ

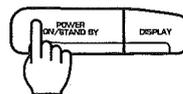


●指定したプログラム番号が点灯します。

11 音量・音質を調整する

12 電源を切る

レシーバー部の **POWER** キーを押す



プログラムを変更するには

設定中



設定後

手順2からやり直す

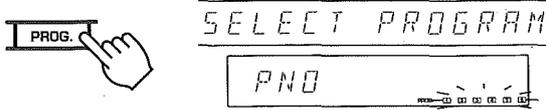
ご注意:

- 手順3で、すでにプログラムされているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
- タイマーで電源がONしているときに、**CLEAR** キーや、**POWER** キーを押すと、正常に作動しなくなります。

■プログラムタイマーで放送を録音する

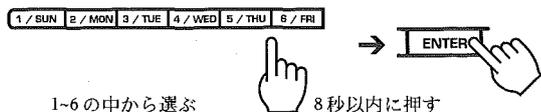
1 電源をONにし、録音する放送局を受信する

2 プログラム設定モードにする



●プログラム番号(1-6)が点滅します。

3 プログラムしたい番号を選ぶ



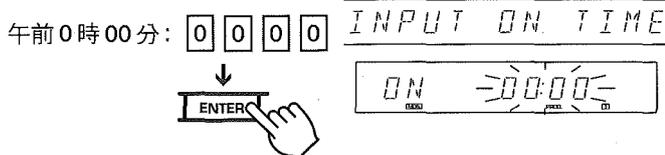
1-6の中から選ぶ 8秒以内に押す

●選んだプログラム番号が点滅します。

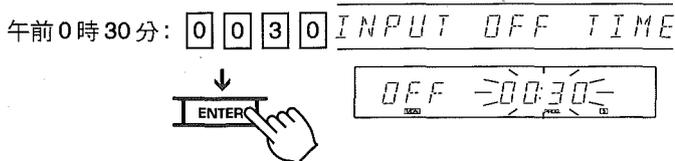
4 曜日を数字キーで指定する



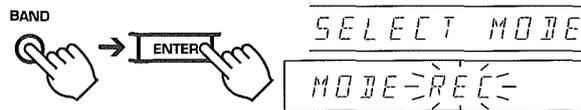
5 ON時刻を数字キーで入力する



6 OFF時刻を数字キーで入力する

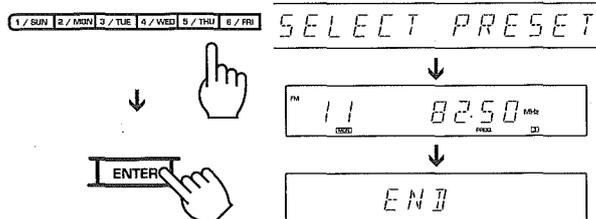


7 モードをRECにする



BAND キーを押すごとにPLAYとRECに切り換わります。

8 受信する放送局のプリセットチャンネルを選ぶ



●放送局は必ずプリセットしておいてください。

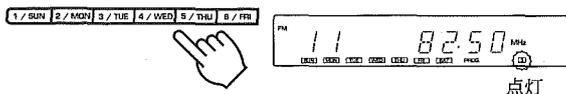
9 録音の準備をする

- ①Bデッキにテープを入れる
 - ②走行方向を合わせる
 - ③録音する面を選ぶ
 - ④DOLBY NRを選ぶ
 - ⑤入力切換をチューナーにする
 - ⑥CRLSキーを押す
- オートバイアスは使えません。

10 プログラムを実行する



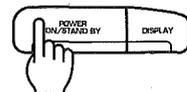
②設定したプログラム番号を数字キーで選ぶ



●指定したプログラム番号が点灯します。

11 電源を切る

レシーバー部の**POWER**キーを押す



ご注意:

1. 手順3で、すでにプログラムされているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
2. タイマーで電源がONになると、音量は最低に設定されます。
3. タイマーで電源がONしているときに、**CLEAR** キーや、**POWER** キーを押すと、正常に作動しなくなります。

プログラムを変更するには

設定中



設定後

手順2からやり直す

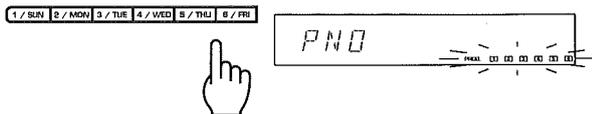
タイマーの使いかた

■プログラムの内容を確認する

1 PROG. キーを押す



2 確認するプログラムの数字キーを押す



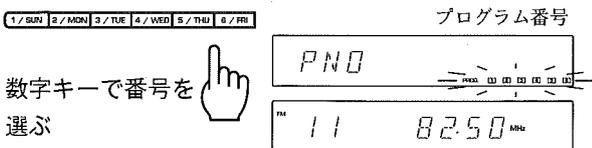
- プログラム番号が点滅中に指定されないと、元に戻ります。
- プログラムの内容を約3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。

■プログラムの実行をキャンセルする

1 CLEAR キーを押す



2 実行させたくないプログラム番号を消す



- 実行を取り消してもプログラムの内容は消えません。

再びタイマーで機器を作動させるとき

プログラムは記憶していますので、内容を確認のうえ、『プログラムを実行する』から後を設定し直します。

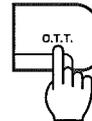
- ① EXE. キーを押す
- ② 実行するプログラム番号を数字キーで選ぶ
- ③ 放送の受信と CD・テープの再生のときは、音量・音質を調整する
- ④ 電源を切る

■ワンタッチタイマーの使いかた

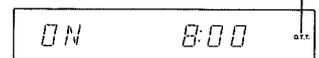
O.T.T. (ワンタッチタイマー) キーを押すだけで30分単位で電源を ON させることができます。プログラムタイマーより優先します。

1 ON 時間を設定する

O.T.T. キーを押す



O.T.T. 点灯



ON になる時間を表示します

押すたびに 30 分ずつ追加されます

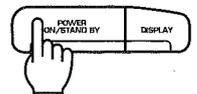
- 1回押すと、今の時間から30分以内で区切りのよい時間が設定されます。(例：7時40分→8時00分)
- ON時間は、0時、0時30分、1時、1時30分のように、30分単位で設定されます。
- 12時間先まで設定できます。
- 電源 OFF 時でも設定できます。

2 好きな音楽ソースを選び音量を調節する

(CD、TUNER、TAPE) の中から選ぶ

3 電源を切る

レシーバー部の POWER キーを押す



- O.T.T. キーを1回押すと ON 時間が確認できます。
- 電源が ON になると、自動的に SLEEP タイマーが 60 に設定されます。
- 電源が ON になると、選んだ音楽ソース (CD、TUNER、TAPE) が再生されます。

ワンタッチタイマーを解除するとき

電源を ON にする

または、

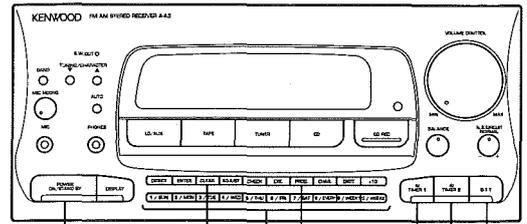
O.T.T. 表示が消えるまで O.T.T. キーを押す

ご注意：

1. インプットセレクターで CD または TAPE を選んだとき、ディスクまたはカセットテープが入っていないと、最後にきいていた放送局が受信されます。
2. 時刻合わせのために **ADJUST** キーを押すと、ワンタッチタイマーは解除されます。

プログラムタイマーで時刻を設定したあと、AI TIMERキーを押すと、プログラムタイマーに下記の機能が追加されます。

AI TIMER 1、AI TIMER 2ともにタイマーで録音するときには動きません。



POWERキー CLEARキー 数字キー PROG.キー AI TIMER 1キー AI TIMER 2キー O.T.T.キー

■ AI TIMER 1 の使いかた

プログラムタイマーで電源が入ると、作動した機器の音量が3段階で大きくなる機能です。

■ AI TIMER 2 の使いかた

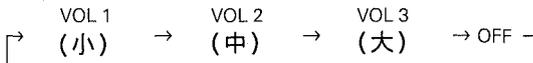
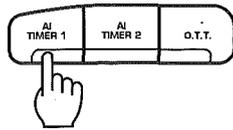
プログラムタイマーで電源が入ると、CDを2曲再生した後、自動的に放送を受信します。他のプログラムタイマーよりも優先されます。

1 プログラムタイマーの設定を完了する

レシーバー部の電源を切る

2 AI TIMER 1 キーを押す

“AI TIMER 1”が点灯します。
最大音量を選ぶ



- 押すごとに最大音量が変わります。手を離すと消灯し、そのレベルを記憶します。

1 CDプレーヤーにディスクを入れる

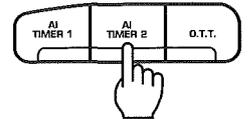
プラス1トレイにディスクを入れてドアを閉める

2 “タイマーで放送を受信する”を済ませる

- 58ページをごらんください。

3 AI TIMER 2 キーを押す

“AI TIMER 2”が点灯します。

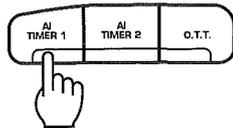


- 音量を3段階で大きくしたいときはAI TIMER 1を押します。

AI TIMER 1 の解除

AI TIMER 1 キーを
押してOFFを選ぶ

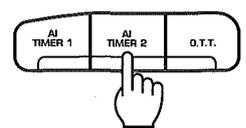
- AI TIMER 1が消灯します。



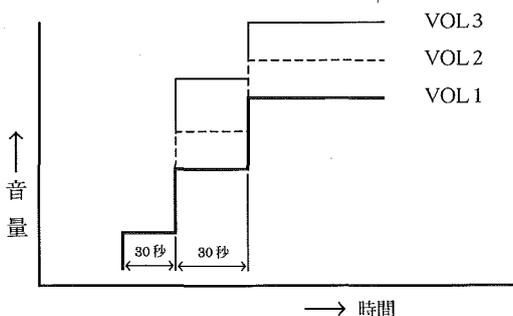
AI TIMER 2 の解除

もう一度 キーを押す

- AI TIMER 2が消灯します。



音量のめやす

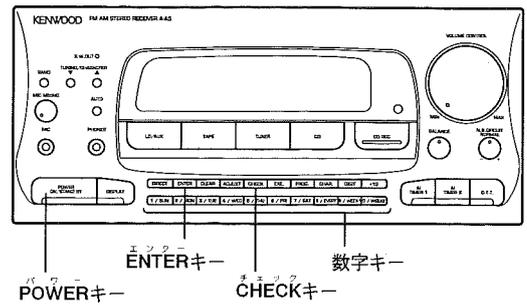
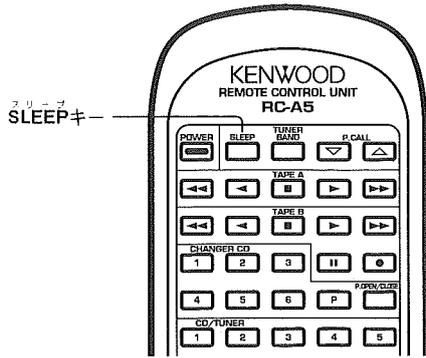


- VOLUMEつまみは音量に合わせてまわります。
- グラフィックイコライザーのカーブも変化します。

ご注意:

- AI TIMER 1の作動中にグラフィックイコライザーの操作キーまたはリモコンの[VOLUME CONTROL]キー+[MUTE]キーを押すと、音量はその時点で固定されます。
- AI TIMER 2のCDの再生中に入力切換キーをTUNERやTAPEにすると、そこでCDの再生をやめ、AI TIMER 2は解除します。
- AI TIMER 2のCDの再生中にCDプレーヤーの操作キーを押すと、そこでCDの再生をやめ、AI TIMER 2は解除します。
- ディスクを入れ忘れたときは、CDの再生をせずに、放送を受信します。
- プログラムタイマーの動作が終了しても、AI TIMER 1および2のインジケータは消えません。AI TIMERを使わないときは必ずインジケータを消しておいてください。

タイマーの使いかた



■スリープタイマーの使いかた

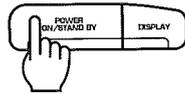
設定した時間が過ぎると電源が切れます。おやすみの前などにお使いになると便利です。

10分単位で最大90分まで設定できます。

スリープタイマーはほかのタイマーより優先します。

リモコンのみ

1 電源を入れる



レシーバー部のPOWERキーを押す

2 何分後に電源を切るかを設定する

SLEEP キーを押す



→90→80→70→-----→20→10→解除

●1回押すごとに10分ずつ減っていきます。

スリープタイマーを解除するとき

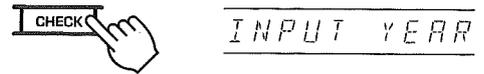
SLEEP キーを解除になるまで押す
または
電源をOFFにする



■カレンダーチェックのしかた

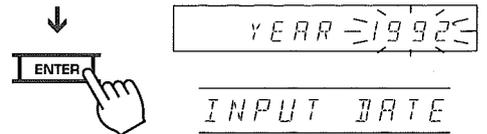
西暦年、月、日を入力すると、その日が何曜日がわかります。1900年1月1日~2099年12月31日の間で検索します。

1 CHECK キーを押す



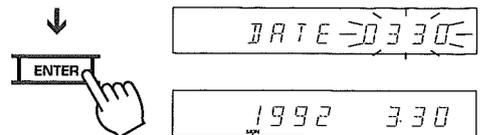
2 西暦年を数字キーで入力する

1992年: [1][9][9][2]



3 月、日を数字キーで入力する

3月30日: [0][3][3][0]



曜日

●入力した日の曜日が、自動的に点灯します。数秒後に元の表示に戻ります。

故障と思われる症状ですが.....

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

リモコン部

症 状	原 因	処 置
リモコンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●平行コードが正しく接続されていない。 ●再生しようとする機器に、テープ、CDが入っていない。 ●録音中のカセットデッキで再生しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。 ●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ●再生しようとする機器に、テープ、CDを入れる。 ●録音が終わるまで待つ。

レシーバー部・スピーカー部

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●音量を最小にしている。 ●レシーバーのMUTINGがONで、VOLUMEポイントインジケータが点滅している。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。 ●平行コードの接続がはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。 ●MUTINGをOFFにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 ●平行コードの接続を確認する。
ディスプレイにPROTECTと点滅表示し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがショートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●BALANCEつまみが片側いっぱいになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ●左右のバランスを調節する。
サラウンドリアスピーカーから音が出ない。または、小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ●リアスピーカーコードがはずれている。 ●サラウンド再生モードになっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ●プレゼンスモードにする。
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定していない。 ●タイマーの実行指定をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“時刻合わせ”をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定する。 ●[EXE]キーで実行指定をする。
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。

故障と思われる症状ですが...

故障と思われる症状ですが.....

症 状	原 因	処 置
プリセットしたあと、数字キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。

カセットデッキ部

症 状	原 因	処 置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ヘッドが汚れている。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“接続のしかた”に従い正しく接続する。 ●“ヘッドのお手入れ”をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープを交換してみる。 ●録音済テープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●カセットホルダーを閉めて、すぐ操作キーを押している。 ●電源を入れてから、3秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●テープがどちらかに巻きとられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホルダーを完全に閉める。 ●ホルダーを閉めてから何秒か待って操作キーを押す。 ●3秒以上たってから操作キーを押す。 ●テープを入れる ●テープを交換してみる。 ●デッキの走行方向をかえる。またはテープを裏返す。
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ●曲と曲の間が短いなどDPSSに不適当なテープを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“DPSSの使いかた”をお読みください。
CCRSが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●Bデッキに録音できるテープが入っていない。 ●CDプレーヤーにディスクが入っていない。 ●ディスクが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●Bデッキに録音できるテープを入れ、操作をやり直す。 ●CDプレーヤーにディスクを入れ、操作をやり直す。 ●ディスクを清掃したあと、CDプレーヤーに入れ、操作をやり直す。
AデッキとBデッキで、ダビングの終わる時間が違う。	<ul style="list-style-type: none"> ●テープの長さやカセットデッキのメカニズムの特性によるもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多少の時間差は故障ではありません。
イジェクトキーを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中、または再生中に押している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●停止状態で押す。
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり、ワカメ状になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“ヘッドのお手入れ”をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープを交換する。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●CRLSキーで録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“普通の録音”をお読みください。 ●テープを交換する。
雑音大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●ドルビーNRをONで録音したテープを、OFFで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“ヘッドのお手入れ”をみて、消磁する。 ●電気器具、テレビなどから離す。 ●DOLBY NRスイッチをBかCにする。

故障と思われる症状ですが...

症 状	原 因	処 置
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ● キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ● テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● “ヘッドのお手入れ”をみて、ヘッドを清掃する。 ● テープの端から端まで通して早送り、巻き戻し、または再生をして巻き直す。
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープのツメが折れている。 ● カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ● レシーバーの入力切換キーがTAPEになっている。 ● テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ● ホルダーを完全に閉める。 ● 入力切換キーを録音したいソースにする。 ● Bデッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。

CDプレーヤー関係

症 状	原 因	処 置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが裏返しに入っている。 ● ディスクがずれている。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ラベル面を上にして、正しく入れる。 ● ディスクを正しく入れ直す。 ● “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り換える。 ● “露付きにご注意”を参照し、露を蒸発させる。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが入っていない。 ● 再生状態になっていない。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 接続コードがしっかり差込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクを入れる。 ● キーを押す。 ● “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り換える。 ● しっかりと接続する。
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 本機に振動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り換える。 ● 振動のない場所に設置する。

ご注意:

1. 本システムはマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜き、**ENTER**キーを押しながらプラグを入れてください。
2. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。
3. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに“キュー”という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働いたため、故障ではありません。
4. 110/120分テープは、テープ厚がうすくてワカメ状になりやすいため、ご使用にならないでください。

故障と見られる症状ですか？

アフターサービスについて

1. 保証書 - この商品の保証書は別途添付しております。
必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
2. 保証期間 - お買い上げの日より1年間です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容によりお買い上げの販売店またはケンウッドの営業所が無料修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年間です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所に、ご遠慮なくご相談ください。

サービス依頼について

本機の修理を依頼されるときは、本体のままお渡しにならないで、必ず何かに包装しておわたしてください。本体のまま修理にだされますと、途中の事故等で外観に傷がつくおそれがありますのでご注意ください。

※包装材はアフターサービスや引越しの際大切な機器を保護するためにご利用ください。

修理のため、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所に、セットをお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーを除きます。)

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

輸送時または移動時のご注意 (CDプレーヤー)

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. ディスク、マガジンを入れないで電源をONにします。
●▶/■キーを押して、プラス1トレイにディスクがないことを確認します。
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

6	DISC NO.	TRACK NO.	SINGLE TIME	1	2	3	4	5
5				6	7	8	9	10
4				11	12	13	14	15
3				16	17	18	19	20
2								
1								
P								

0 0 0

3. 電源をOFFにします。

定格

レシーバー部 (A-A5)

[アンプ部]

実用最大出力(EIAJ, 8 Ω)	35W+35W
全高調波ひずみ率 (40Hz~20kHz, 8 Ω)	0.09%
(1kHz, 8 Ω)	0.06%
S/N比	80dB(EIAJ)/95dB(IHF A)
入力感度/インピーダンス	
LD/AUX	150mV/47k Ω
MIC	1.2mV/47k Ω
N.B. サーキット	
(音量ボリューム -30dB)(Max)	+15dB(60Hz)
出力レベル/インピーダンス	
SUPER WOOFER OUT	1.5V/3.6k Ω

[FM チューナー部]

受信周波数範囲	76MHz~90MHz
アンテナインピーダンス	75 Ω 不平衡/300 Ω 平衡
実用感度 (モノラル)	17.5dBf(2.0 μ V, 75 Ω)
高調波ひずみ率	
モノラル	0.5%(1kHz)
ステレオ	0.6%(1kHz)
SN比	
モノラル	76dB(85dBf 入力時)
ステレオ	72dB(85dBf 入力時)
実行選択度 (± 400kHz)	50dB
ステレオセパレーション (1kHz)	40dB
周波数特性 (30Hz~15kHz)	+0.5dB, -3.0dB

[AM チューナー部]

受信周波数範囲	531kHz~1,602kHz
実用感度	20 μ V (500 μ V/m)
SN比	48dB

[電源・その他]

電源電圧, 電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示)	55W
総合消費電力 (GE-A5, X-A5, DP-MA5 接続時)	85W

最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 120mm
	奥行 332mm
重量 (正味)	6.5kg

グラフィックイコライザー部 (GE-A5)

可変範囲	± 10dB
調整中心周波数	60Hz, 150Hz, 400Hz, 1kHz, 2.4kHz, 6kHz, 15kHz
最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 85mm
	奥行 269mm
重量 (正味)	1.7kg

CD プレーヤー部 (DP-MA5)

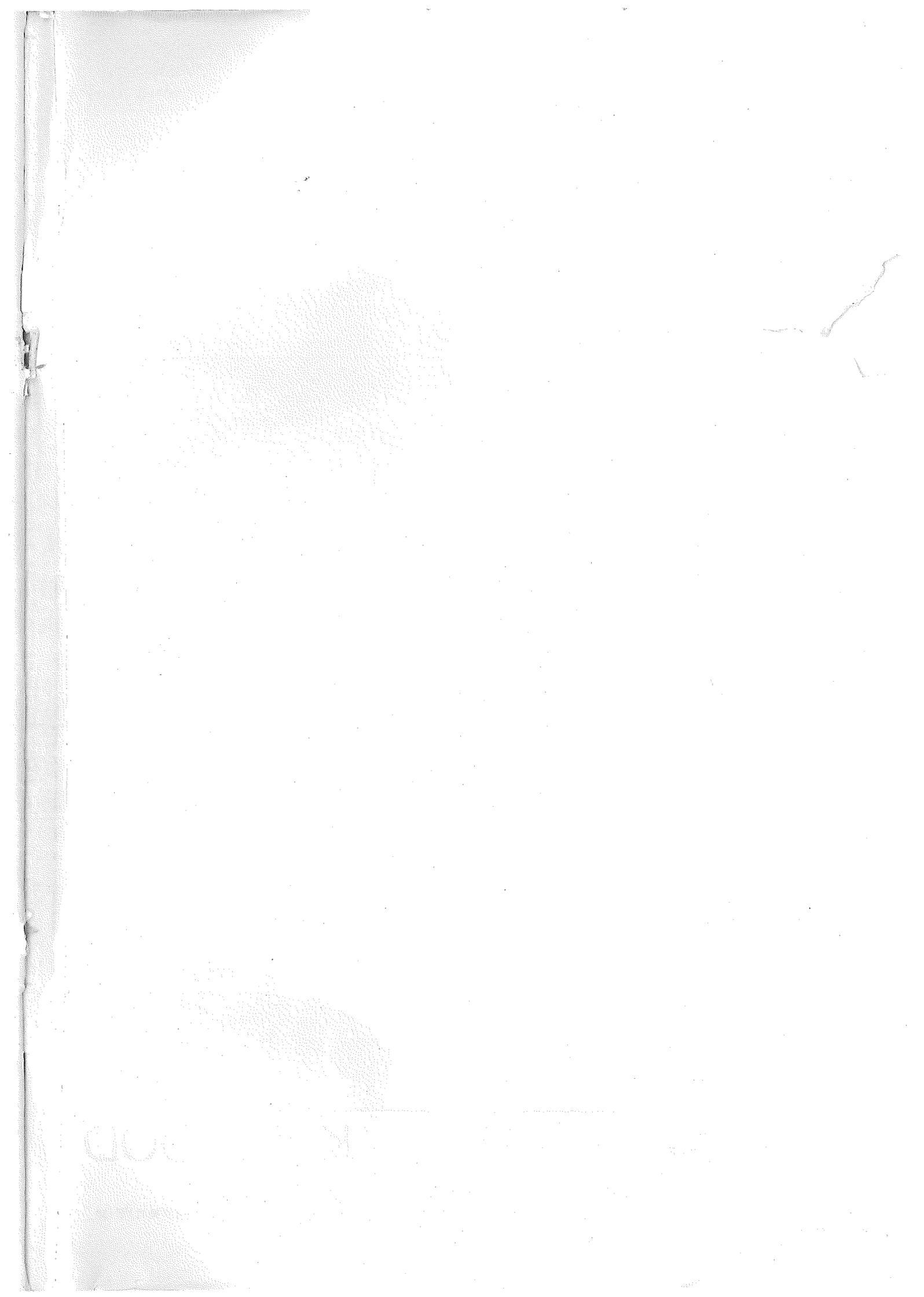
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
回転数	200rpm~500rpm (CLV)
周波数特性 (EIAJ)	20Hz~20kHz, ± 1dB
SN比 (EIAJ)	93dB 以上
全高調波ひずみ率 (EIAJ)	0.01% 以下 (1kHz)
チャンネルセパレーション (EIAJ)	85dB 以上 (1kHz)
ワウ・フラッター (EIAJ)	測定限界以下
最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 85mm
	奥行 310mm
重量 (正味)	3.2kg

カセットデッキ部 (X-A5)

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス(周波数:105kHz)
ヘッド	
Aデッキ用 再生用	1
Bデッキ用 録音/再生用	1
消去用	1
モーター	
Aデッキ用	1
Bデッキ用	1
早巻き時間	約110秒(C-60)
周波数特性	
ノーマルテープ	35Hz~17,000Hz, ±3dB
クロームテープ	35Hz~18,000Hz, ±3dB
SN比	
EIAJ	56dB
DOLBY NR OFF	55dB
DOLBY B NR ON	63dB
DOLBY C NR ON	70dB
ワウ・フラッター	0.08%(WRMS) ±0.18%(W.Peak)
最大外形寸法	幅 270mm 高さ 120mm 奥行 259mm
重量(正味)	2.7kg

スピーカー (LS-A5)

エンクロージャー	バスレフ
スピーカー構成	2ウェイ
ウーファー	120mm コーン型
ツイーター	50mm コーン型
インピーダンス	8Ω
最大入力	50W
出力音圧レベル	88dB/W, 1m
周波数帯域	47Hz~20kHz
最大外形寸法	幅 205mm 高さ 410mm 奥行 234mm
重量(正味)	5.0kg(1本)



モータ

Aデッ

B

アフターサービスのお問い合わせは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問い合わせは、
お客様相談室をご利用ください。
電話(03)3486-5515

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
東京都渋谷区渋谷1-2-5(アライブ美竹)〒150
電話(03)3486-5511